

# 令和4年県民意識調査結果報告書

## 【概要版】

令和5年3月  
宮 城 県

## 目次

---

I 調査の概要 .....	1
1 調査の趣旨 .....	1
2 調査の実施状況 .....	1
3 調査結果の見方 .....	2
II 調査結果 .....	3
1 新・宮城の将来ビジョンについて .....	3
(1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる .....	3
(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる .....	5
(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる .....	7
(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる .....	9
(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる .....	11
(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる .....	13
(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる .....	15
(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる .....	17
2 テーマ別項目 .....	21
(1) 暮らしの満足度について .....	21
(2) 防災意識について .....	27
(3) 宮城県の復旧・復興の進捗状況について .....	28
(4) デジタル社会の実現について .....	30
(5) 障害のある人もない人も共生する社会について .....	33
(6) 学びの状況について .....	35
(7) 宮城の治安について .....	37
III 参考資料 .....	39
回答者属性一覧 .....	39

# I 調査の概要

## 1 調査の趣旨

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成 13 年宮城県条例第 70 号）第 7 条の規定により実施するもので、「新・宮城の将来ビジョン」に関する取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また今後どのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査しています。その結果は公表するとともに、県の政策評価・施策評価や事業の企画立案などに活用します。

## 2 調査の実施状況

### ①調査対象

宮城県に居住する 18 歳以上の方 4,000 人（選挙人名簿等から無作為抽出）

### ②調査方法

郵送配布，郵送及びインターネット回答

### ③調査期間

令和 4 年 11 月 25 日（金）から令和 4 年 12 月 20 日（火）まで

### ④調査項目

- 「新・宮城の将来ビジョン」に基づく 8 政策の重視度，満足度等に関する項目
  - 回答者属性及び調査方法等に関する項目
- このほか，テーマ別項目の調査を実施

### ⑤回収結果

回収数 2,010 件 有効回答数 2,001 件（うち郵送回答数 1,644 件，インターネット回答数 357 件）  
回収率 50.3% 有効回答率 50.0%（うち郵送回答率 82.2%，インターネット回答率 17.8%）

### 3 調査結果の見方

○比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

○本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本（調査対象）を抽出することによって生じる「標本誤差（母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差）」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

（例：今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内（真の値が58%～62%以内にある）と見ることができます。）

○n（number of cases）とは、設問ごとに無回答者数を除いた回答者総数のことです。

○この調査で用いている用語の意義は、次のとおりです。

- ・「高重視群割合」とは、重視度に関する設問で、「重要」、「やや重要」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「低重視群割合」とは、重視度に関する設問で、「あまり重要でない」、「重要でない」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「満足群割合」とは、満足度に関する設問で、「満足」、「やや満足」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「不満群割合」とは、満足度に関する設問で、「やや不満」、「不満」と回答した割合を合わせたものです。
- ・「仙南圏域」とは、白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町の9市町です。
- ・「仙台圏域」とは、仙台市（青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区）、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村の14市町村です。
- ・「大崎圏域」とは、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の5市町です。
- ・「栗原圏域」とは、栗原市の1市です。
- ・「登米圏域」とは、登米市の1市です。
- ・「石巻圏域」とは、石巻市、東松島市、女川町の3市町です。
- ・「気仙沼・本吉圏域」とは、気仙沼市、南三陸町の2市町です。

## II 調査結果

### 1 新・宮城の将来ビジョンについて

「新・宮城の将来ビジョン」に基づく取組について、8つの「つくる」ごとに「重視度」、「満足度」及び「今後優先すべきと思うテーマ」を調査したところ、次のような結果となりました。

#### (1) つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる

取組	テーマ
1 産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	1 企業誘致と先進的技術の活用 2 研究開発拠点の形成や産学官連携による地域産業の活性化 3 ものづくり産業の技術力・収益力の向上
2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	4 高付加価値な観光産業の実現 5 観光客の受入環境整備と誘客促進 6 地域課題に対応した商業・サービス業の振興
3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	7 農林水産業の持続的発展と食産業の振興 8 農林水産物の販路開拓や生産管理の支援 9 食の安全・安心の確保

#### 調査結果の概要

##### 【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は、78.6%となっています。

##### 【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は34.0%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は41.6%となっています。

##### 【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「9 食の安全・安心の確保（45.6%）」で、次いで「7 農林水産業の持続的発展と食産業の振興（38.3%）」、「3 ものづくり産業の技術力・収益力の向上（37.0%）」の順となっています。

図 1 重視度割合（県全体）

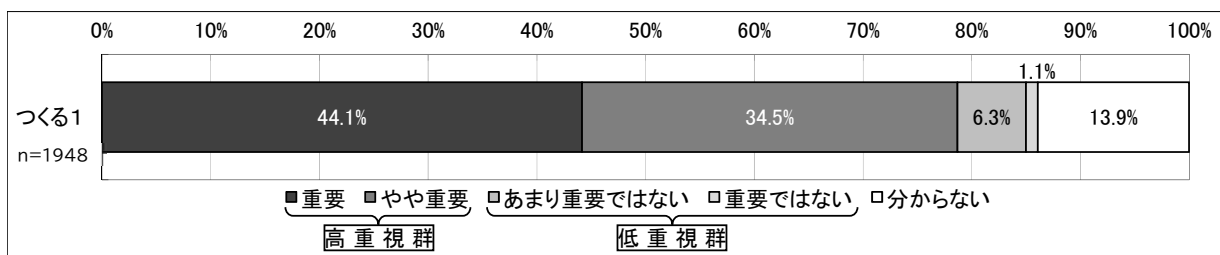


表 1 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	78.6%	79.5%	78.1%	83.6%	79.1%	77.1%	77.7%	81.5%	80.9%	77.2%	77.2%	77.4%	79.6%

図 2 満足度割合 (県全体)

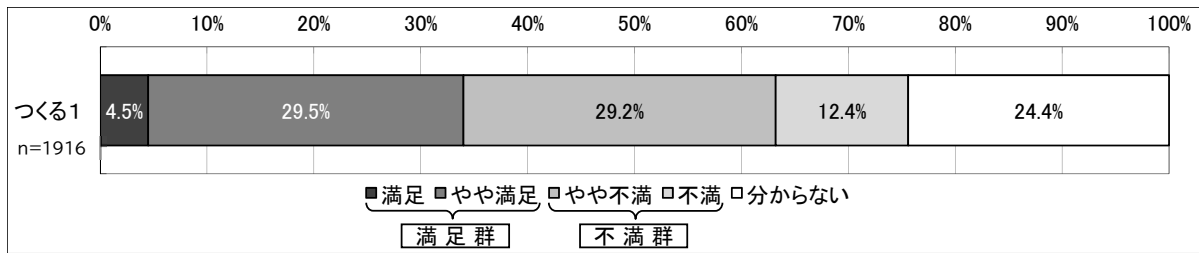


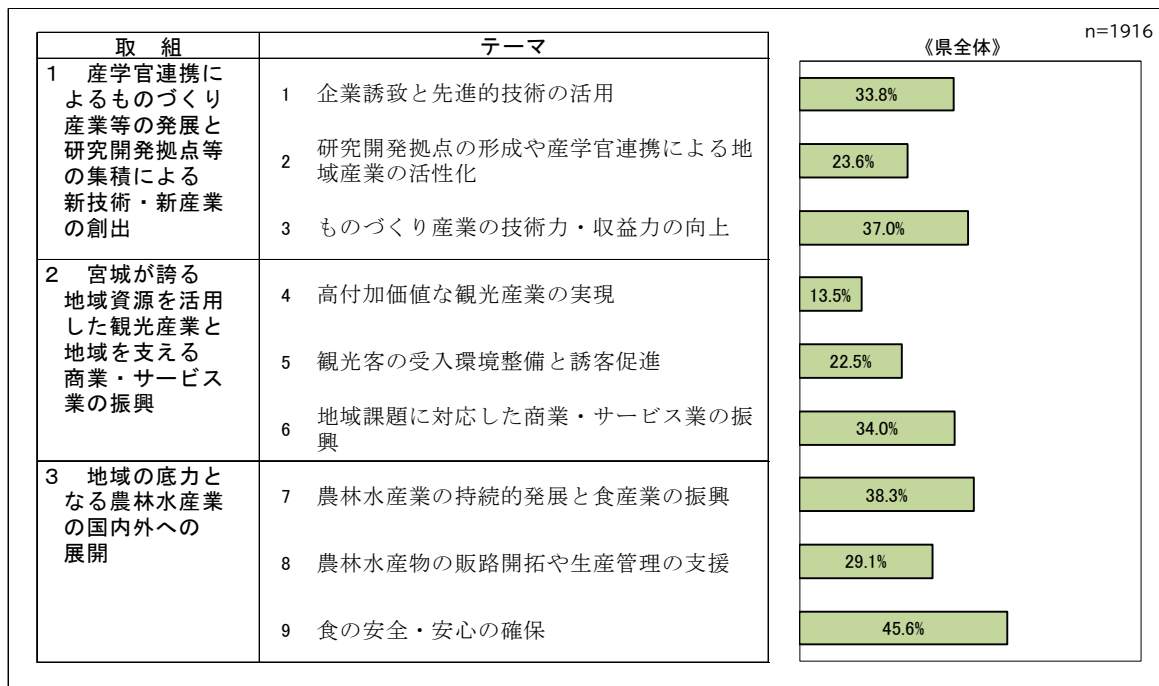
表 2 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	34.0%	36.7%	32.0%	32.3%	28.6%	37.9%	35.0%	31.8%	40.3%	31.1%	33.8%	34.7%	34.3%

表 3 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる1	41.6%	45.0%	38.7%	38.4%	48.8%	38.0%	40.9%	45.8%	36.0%	42.3%	43.1%	42.6%	39.2%

図 3 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(2) つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる

取組	テーマ
4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	1 県内への就職・就業の促進と産業人材の育成 2 柔軟に働き続けるための環境整備 3 リカレント教育の振興 4 創業や経営力強化の支援
5 時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	5 生産・物流・交流基盤の強化 6 産業基盤の有効活用 7 東北のゲートウェイ機能の強化

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は83.6%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は33.3%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は44.1%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 県内への就職・就業の促進と産業人材の育成（65.1%）」で、次いで「2 柔軟に働き続けるための環境整備（54.8%）」、「5 生産・物流・交流基盤の強化（33.0%）」の順となっています。

図 4 重視度割合（県全体）

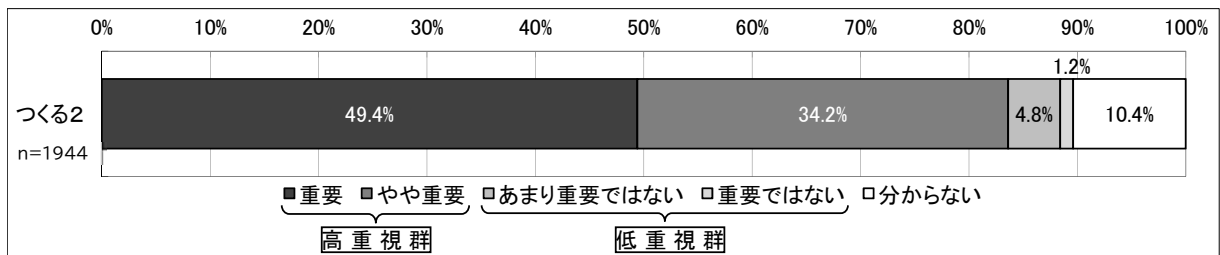


表 4 高重視群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	83.6%	85.6%	81.9%	84.2%	85.3%	82.4%	84.3%	84.6%	87.4%	82.7%	83.5%	80.3%	83.2%

図 5 満足度割合 (県全体)

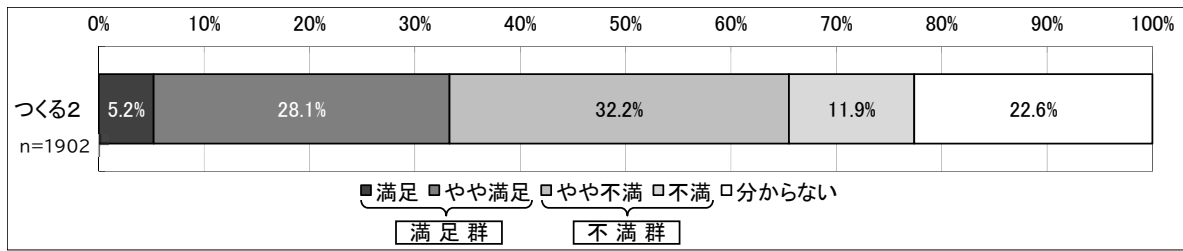


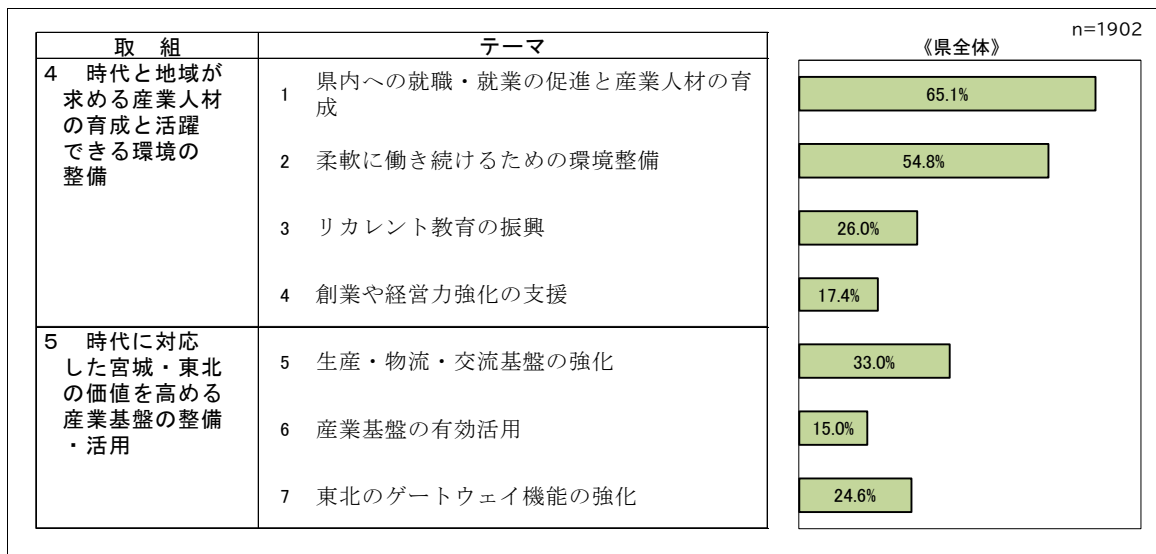
表 5 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	33.3%	35.7%	31.6%	34.7%	30.3%	34.9%	30.6%	31.5%	36.5%	34.5%	33.4%	35.1%	33.4%

表 6 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる2	44.1%	47.9%	40.7%	33.9%	47.7%	44.3%	48.8%	45.8%	43.0%	40.9%	43.1%	42.8%	44.1%

図 6 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。



(3) つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる

取組	テーマ
6 結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	1 結婚・妊娠・出産への支援 2 子育て家庭への支援 3 子育て支援体制の充実
7 家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	4 成育環境の整備や教育機会の均等 5 児童虐待の対策 6 家庭教育の支援や生活習慣の定着 7 家庭・地域・学校の連携

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は90.3%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は31.4%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は51.5%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 結婚・妊娠・出産への支援 (55.7%)」で、次いで「3 子育て支援体制の充実 (54.1%)」、「2 子育て家庭への支援 (42.4%)」の順となっています。

図 7 重視度割合 (県全体)

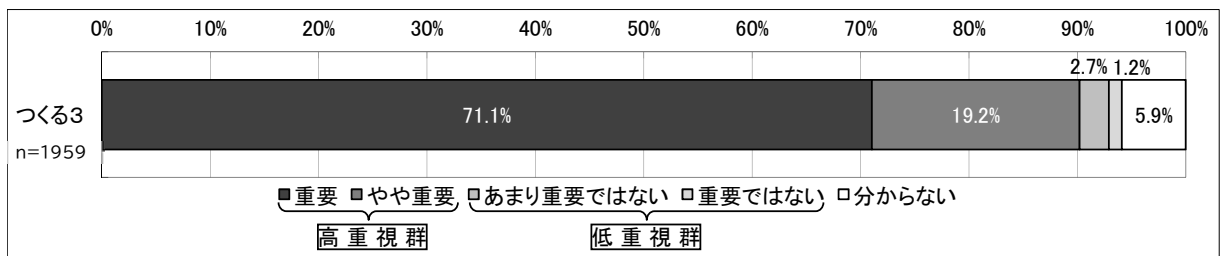


表 7 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	90.3%	90.1%	90.5%	90.2%	89.0%	91.0%	88.0%	90.7%	92.9%	91.1%	93.5%	87.8%	88.4%

図 8 満足度割合 (県全体)

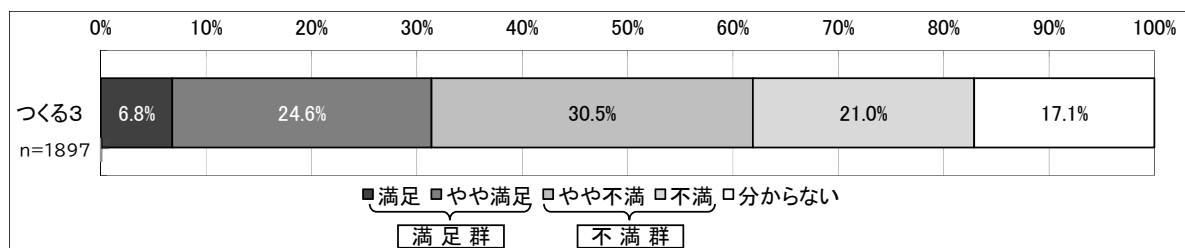


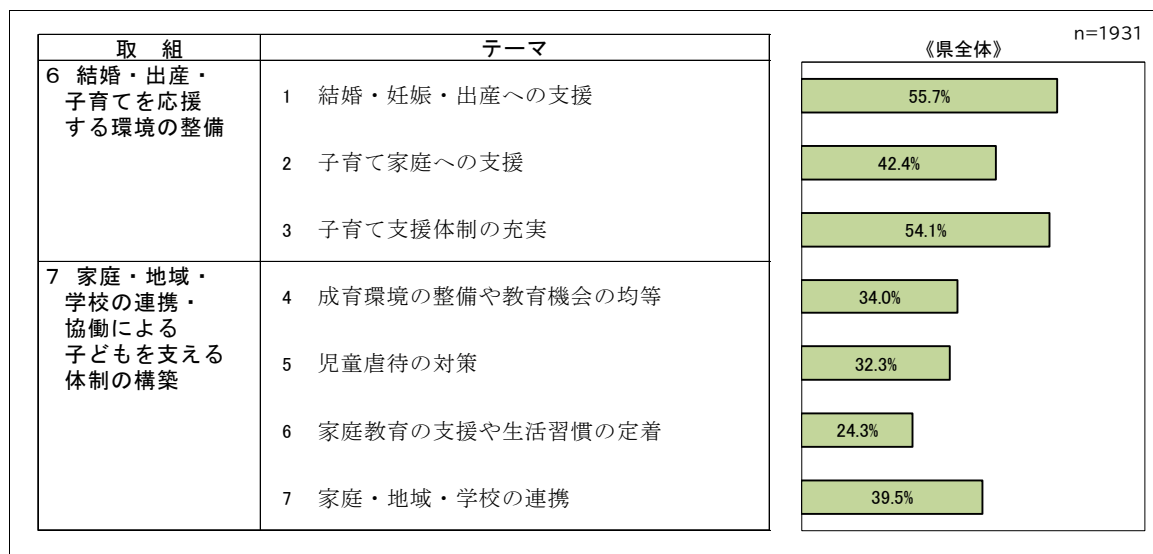
表 8 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	31.4%	31.2%	31.5%	27.3%	29.1%	33.9%	32.2%	28.7%	34.9%	33.7%	28.4%	33.2%	30.3%

表 9 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる3	51.5%	54.1%	49.2%	50.0%	54.2%	50.1%	51.7%	56.7%	50.2%	47.4%	54.8%	48.7%	50.0%

図 9 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(4) つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる

取組	テーマ
8 多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	1 豊かな人間性や社会性の育成 2 学力の育成 3 新たな時代に必要な資質・能力の育成 4 健康な身体づくりや体力・運動能力の向上
9 安心して学び続けることができる教育体制の整備	5 魅力ある学校づくり 6 共生社会の実現に向けた教育の推進 7 いじめ対策・不登校支援 8 教職員支援体制の充実

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は89.0%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は34.3%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は45.0%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 豊かな人間性や社会性の育成（56.0%）」で、次いで「3 新たな時代に必要な資質・能力の育成（47.7%）」、「7 いじめ対策・不登校支援（44.2%）」の順となっています。

図 10 重視度割合 (県全体)

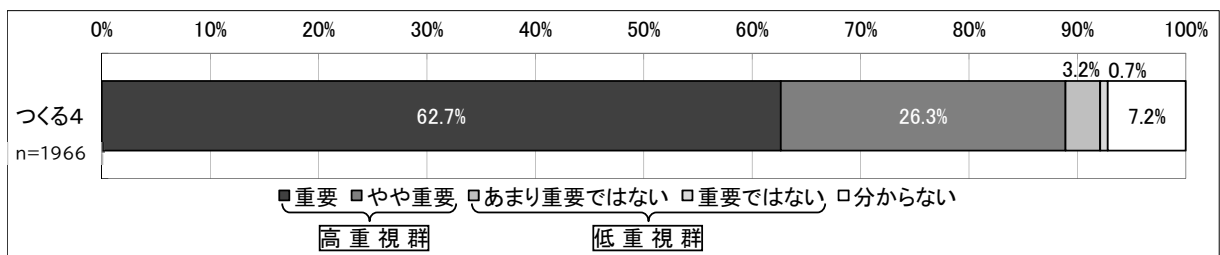


表 10 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	89.0%	88.1%	90.0%	89.1%	88.2%	89.6%	86.9%	89.2%	91.8%	90.3%	89.5%	86.5%	89.1%

図 1 1 満足度割合 (県全体)

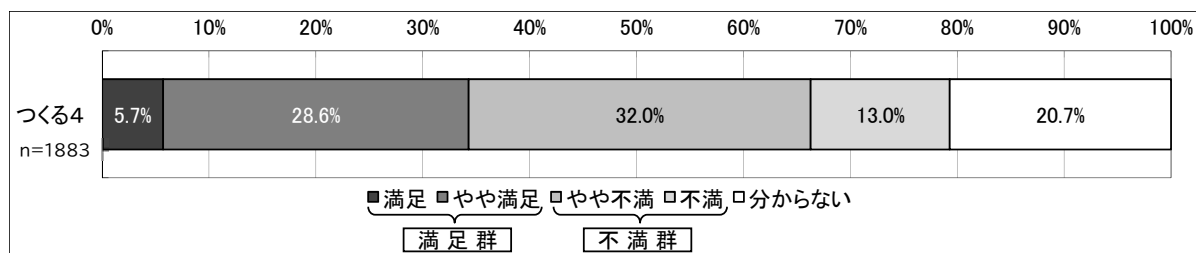


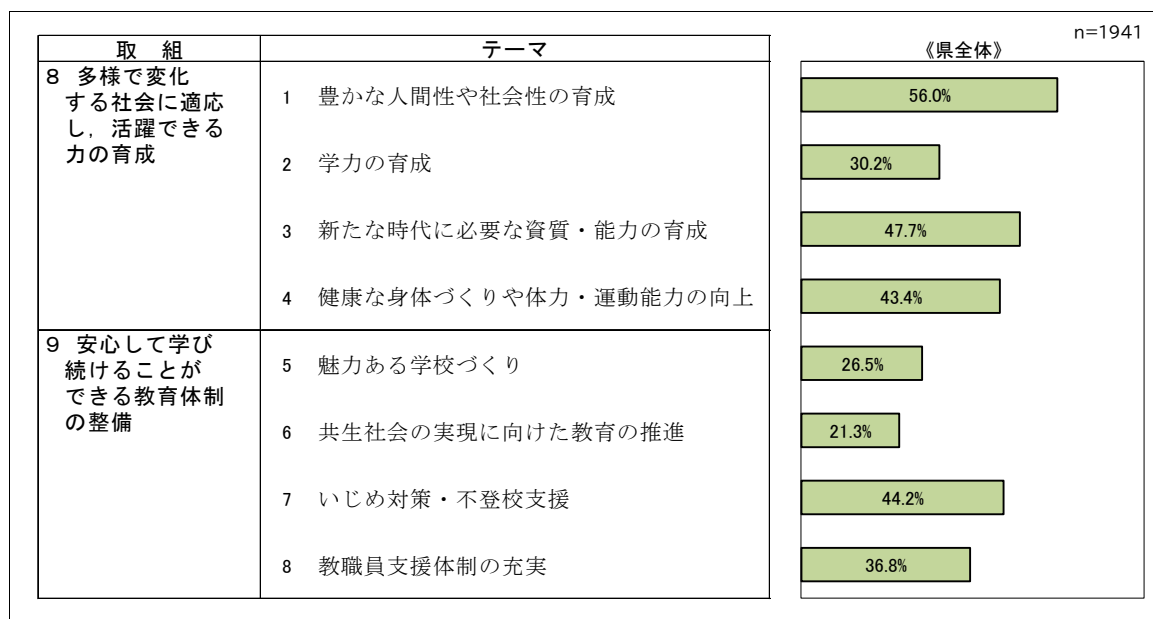
表 1 1 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	34.3%	33.7%	34.8%	29.9%	30.9%	37.4%	34.7%	29.2%	41.0%	34.2%	32.0%	35.7%	34.1%

表 1 2 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる4	45.0%	48.6%	42.1%	43.2%	49.3%	43.0%	44.9%	51.0%	40.7%	46.5%	46.0%	42.8%	42.5%

図 1 2 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(5) つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる

取組	テーマ
10 就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	1 多様な主体への就業支援 2 女性や高齢者等の社会参画の促進 3 地域コミュニティの機能強化と活性化 4 外国人が活躍しやすい社会の構築
11 文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	5 文化芸術の振興 6 文化芸術やスポーツの多方面への活用 7 スポーツの振興 8 様々な機会の学びの活性化

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は80.0%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は37.1%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は38.3%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 多様な主体への就業支援 (49.2%)」で、次いで「2 女性や高齢者等の社会参画の促進 (42.9%)」、「8 様々な機会の学びの活性化 (41.2%)」の順となっています。

図 13 重視度割合 (県全体)

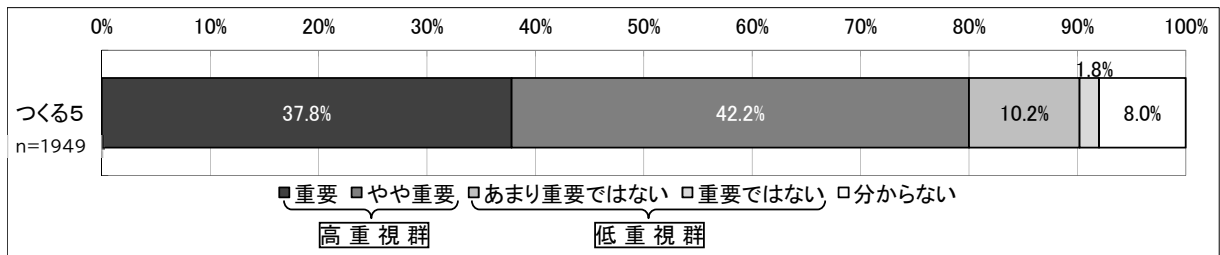


表 13 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	80.0%	75.6%	84.0%	76.0%	77.9%	82.4%	80.1%	81.2%	79.4%	81.4%	84.2%	76.7%	77.9%

図 14 満足度割合 (県全体)

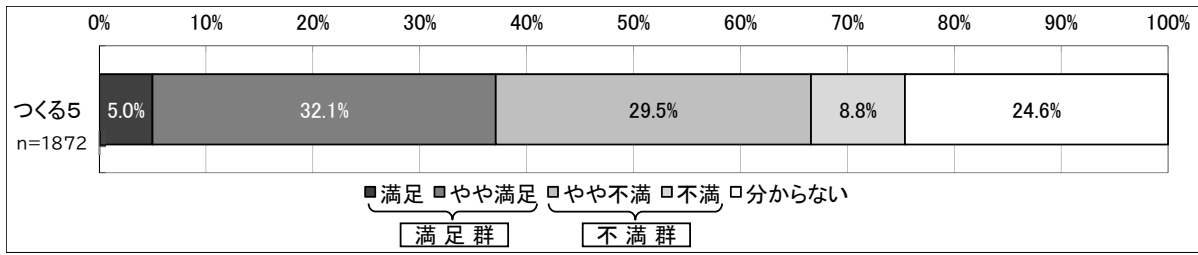


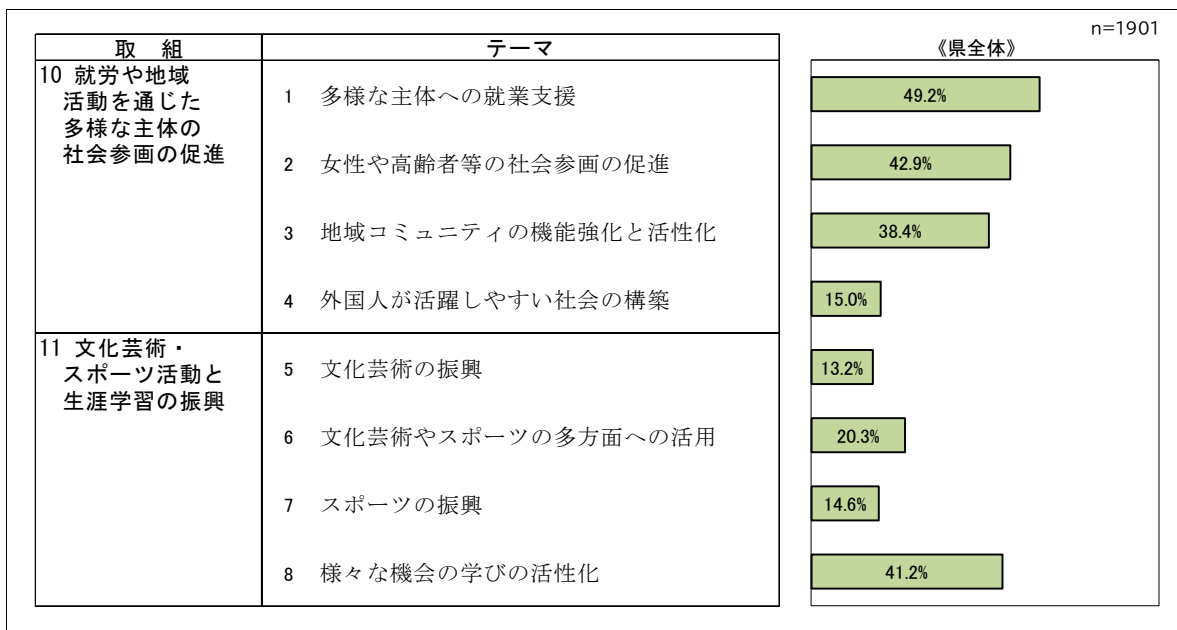
表 14 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	37.1%	34.8%	39.1%	35.2%	33.7%	39.7%	34.1%	34.9%	40.5%	37.5%	37.2%	37.9%	38.4%

表 15 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる5	38.3%	42.8%	34.2%	29.9%	38.4%	40.1%	41.0%	43.2%	35.5%	36.8%	38.7%	36.7%	35.3%

図 15 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(6) つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる

取組	テーマ
12 生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	1 心身の健康づくりの支援 2 切れ目のない医療提供体制の整備 3 感染症対策 4 高齢者を支える体制整備
13 障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	5 障害者の権利擁護や社会的障壁の除去 6 ユニバーサルデザインの推進 7 障害者や難病患者等を支える体制整備
14 暮らし続けられる安全安心な地域の形成	8 地域交通の維持や移動手段の普及 9 商店街の活性化 10 地域の安全安心の確保

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は92.5%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は41.4%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は45.0%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「2 切れ目のない医療提供体制の整備(58.3%)」で、次いで「8 地域交通の維持や移動手段の普及(48.5%)」、「4 高齢者を支える体制整備(45.8%)」の順となっています。

図 16 重視度割合 (県全体)

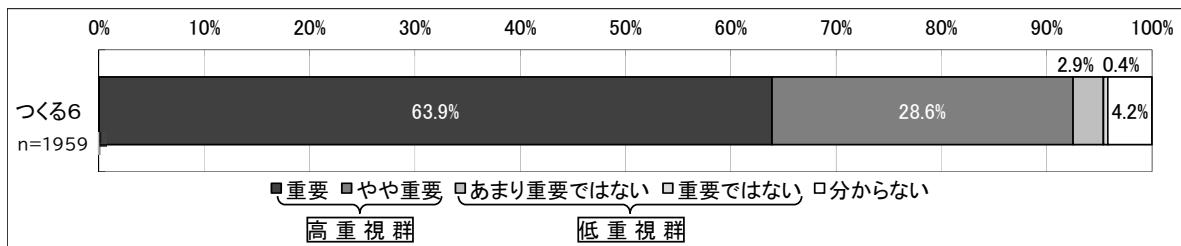


表 16 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	92.5%	90.7%	94.0%	89.8%	91.7%	93.6%	91.9%	95.5%	93.2%	94.4%	93.4%	87.3%	91.3%

図 17 満足度割合 (県全体)

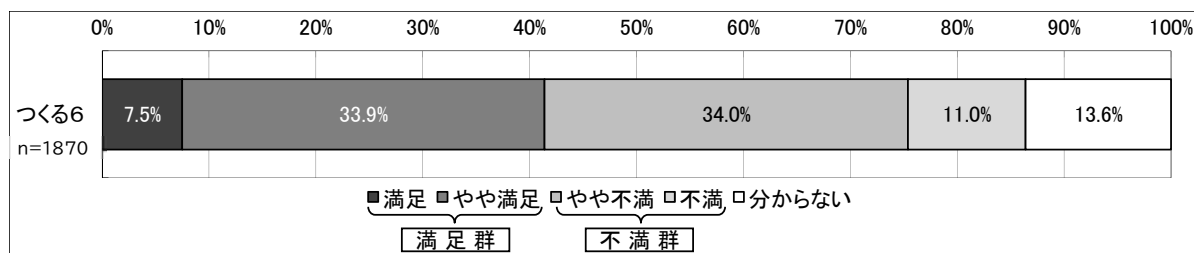


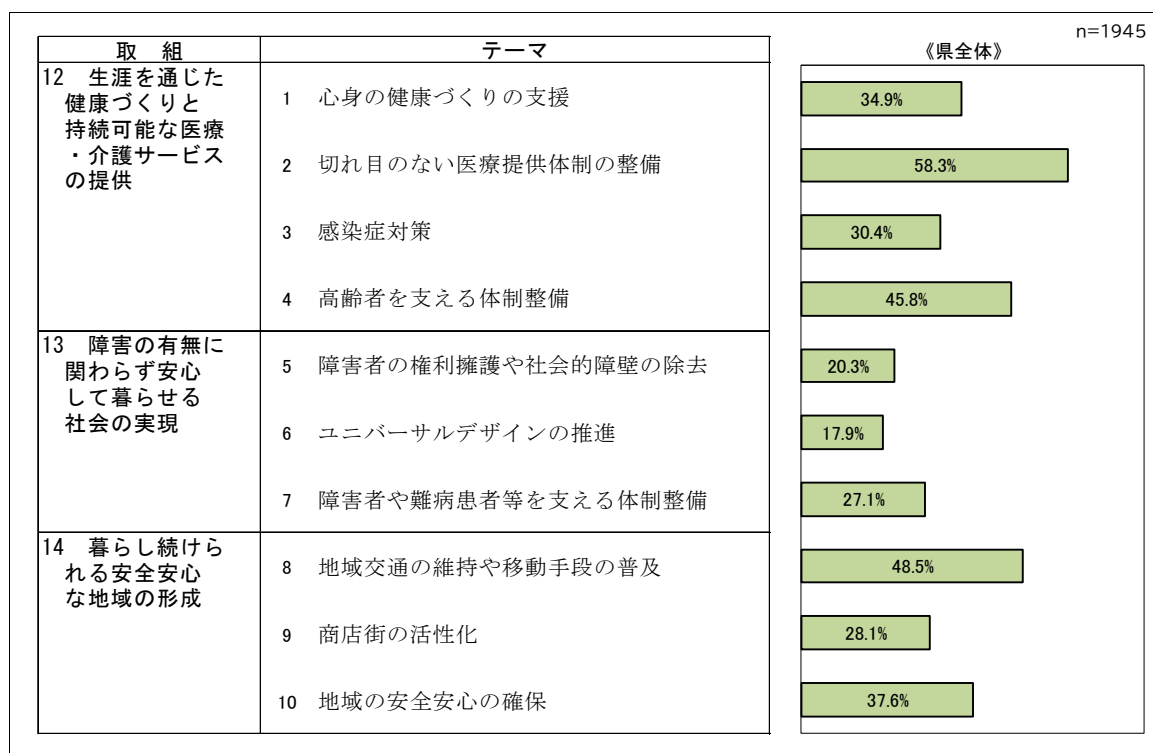
表 17 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	41.4%	41.1%	41.9%	41.5%	35.2%	45.1%	40.7%	41.9%	40.4%	42.3%	41.1%	38.6%	46.9%

表 18 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる6	45.0%	47.8%	42.3%	35.4%	50.4%	44.2%	47.6%	46.3%	45.6%	44.8%	44.2%	44.0%	40.5%

図 18 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。



(7) つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる

取組	テーマ
15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	1 環境課題の理解と配慮行動の促進 2 省エネ行動, 再生可能エネルギー等の利用促進 3 環境関連産業の振興 4 廃棄物の削減や有効活用 5 廃棄物の適正処理
16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築	6 自然環境や生態系の保全 7 自然環境に関する学びの環境整備 8 地域資源の保全・活用 9 都市と農山漁村の交流促進や景観形成

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は86.0%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は39.3%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は39.9%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「2 省エネ行動, 再生可能エネルギー等の利用促進 (46.3%)」で、次いで「6 自然環境や生態系の保全 (42.1%)」、「4 廃棄物の削減や有効活用 (39.2%)」の順となっています。

図 19 重視度割合 (県全体)

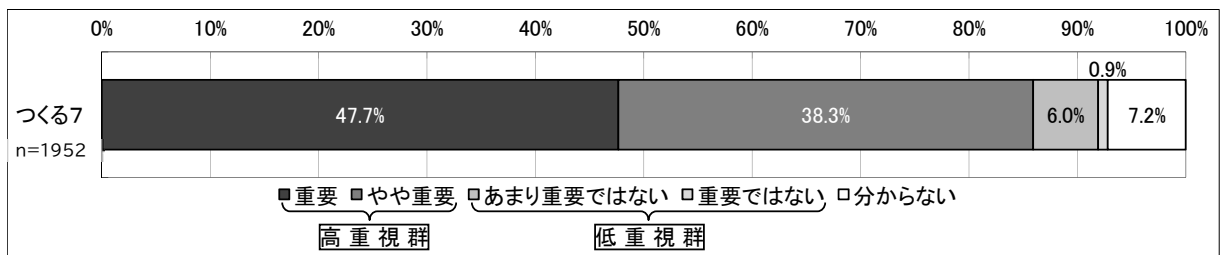


表 19 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	86.0%	85.7%	86.1%	84.2%	85.1%	86.8%	84.4%	89.7%	87.7%	86.7%	87.9%	82.4%	82.4%

図 20 満足度割合 (県全体)

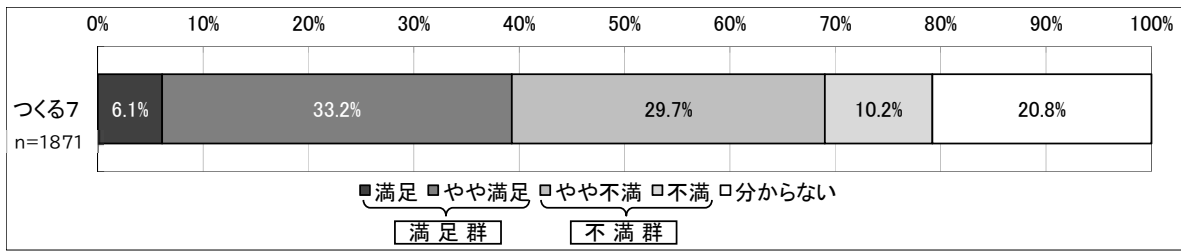


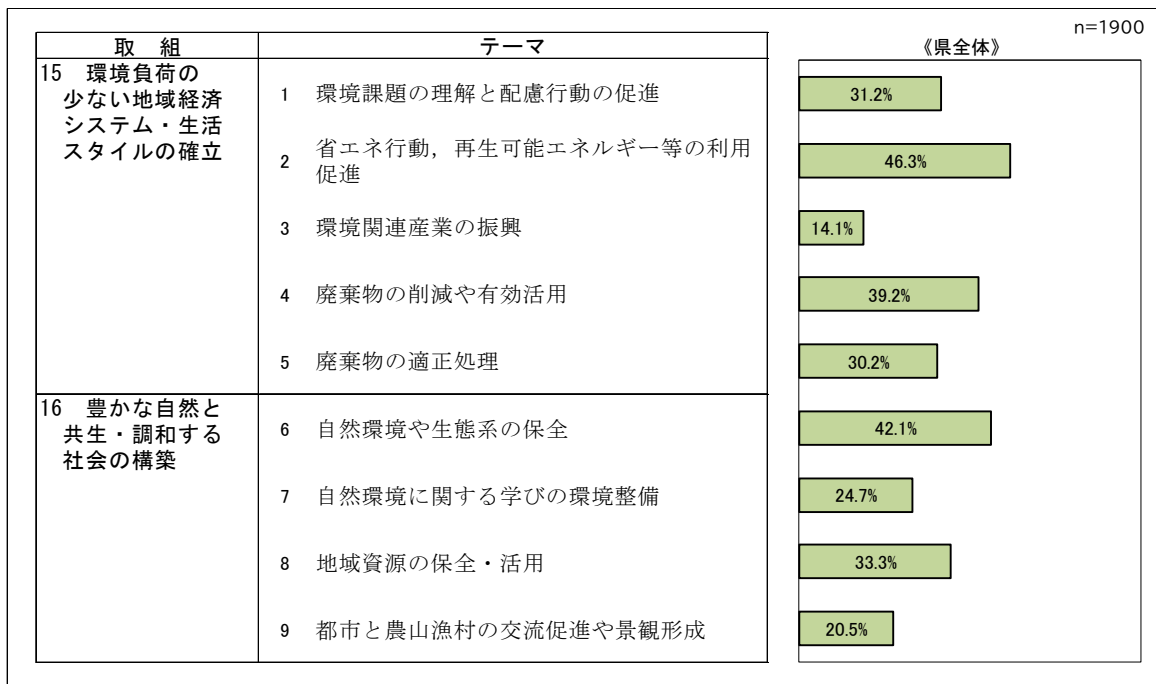
表 20 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	39.3%	40.1%	38.7%	37.9%	36.0%	41.6%	36.6%	34.7%	39.6%	41.7%	40.2%	39.2%	44.7%

表 21 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる7	39.9%	45.1%	35.2%	32.9%	40.3%	41.3%	42.1%	46.8%	41.2%	37.8%	39.0%	38.0%	33.7%

図 21 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり, 回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(8) つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる

取組	テーマ
17 大規模化・多様化する災害への対策の強化	1 災害対応力向上 2 地域防災体制の活性化 3 県民の防災意識の向上 4 防災教育の充実 5 防災体制の充実
18 生活を支える社会資本の整備, 維持・管理体制の充実	6 社会資本の整備 7 企業や地域社会と協働した公共施設の管理

調査結果の概要

【重視度】

○県全体で、「重要」又は「やや重要」と回答している「高重視群割合」は90.8%となっています。

【満足度】

○県全体で、「満足」又は「やや満足」と回答している「満足群割合」は39.6%、「やや不満」又は「不満」と回答している「不満群割合」は43.3%となっています。

【今後優先すべきと思うテーマ】

○「今後優先すべきと思うテーマ」の割合が最も高かったのは、「1 災害対応力向上 (62.1%)」で、次いで「2 地域防災体制の活性化 (44.9%)」、「5 防災体制の充実 (41.7%)」の順となっています。

図 2 2 重視度割合 (県全体)

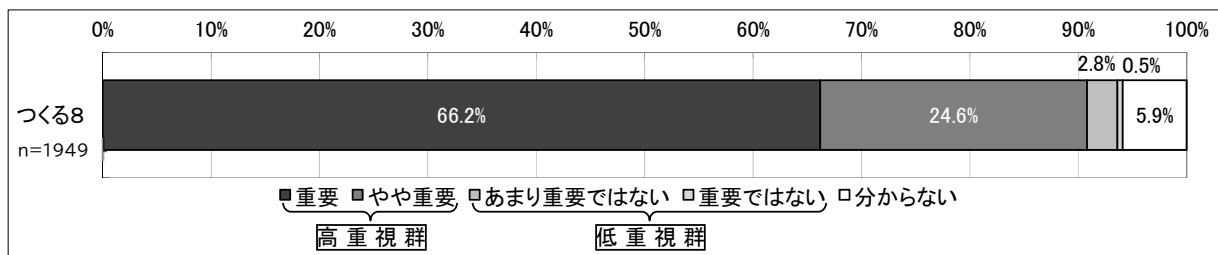


表 2 2 高重視群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	90.8%	90.9%	90.8%	88.7%	90.0%	91.7%	88.7%	91.9%	94.4%	90.0%	93.7%	88.4%	89.4%

図 2 3 満足度割合 (県全体)

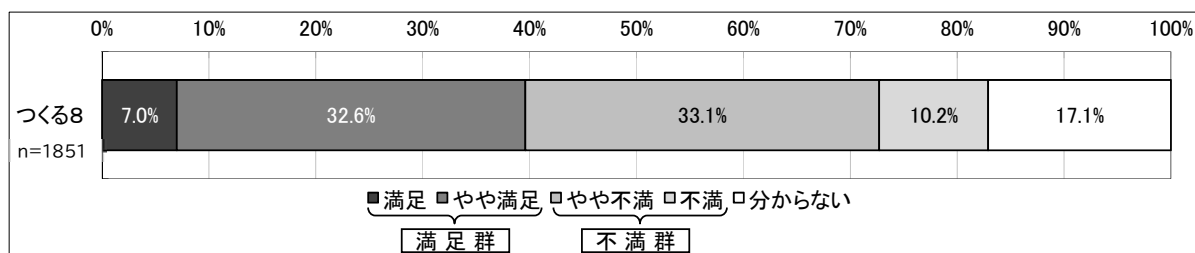


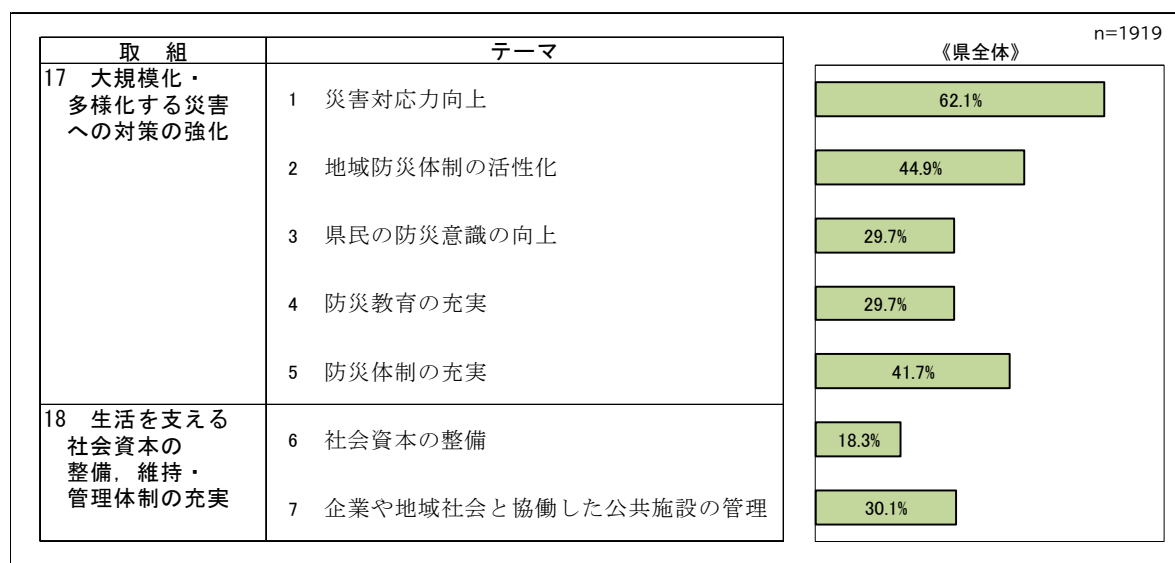
表 2 3 満足群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	39.6%	39.7%	39.6%	43.1%	38.6%	39.4%	36.6%	37.9%	42.7%	41.7%	39.9%	40.8%	38.9%

表 2 4 不満群割合 (回答者属性別)

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
つくる8	43.3%	47.2%	39.8%	33.4%	42.6%	46.2%	45.7%	46.4%	41.5%	41.7%	43.4%	41.2%	43.1%

図 2 4 今後優先すべきと思うテーマ



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

# 【つくる1～つくる8の重視度・満足度のまとめ】

図 25 8つの「つくる」の重視度割合の比較 (県全体)

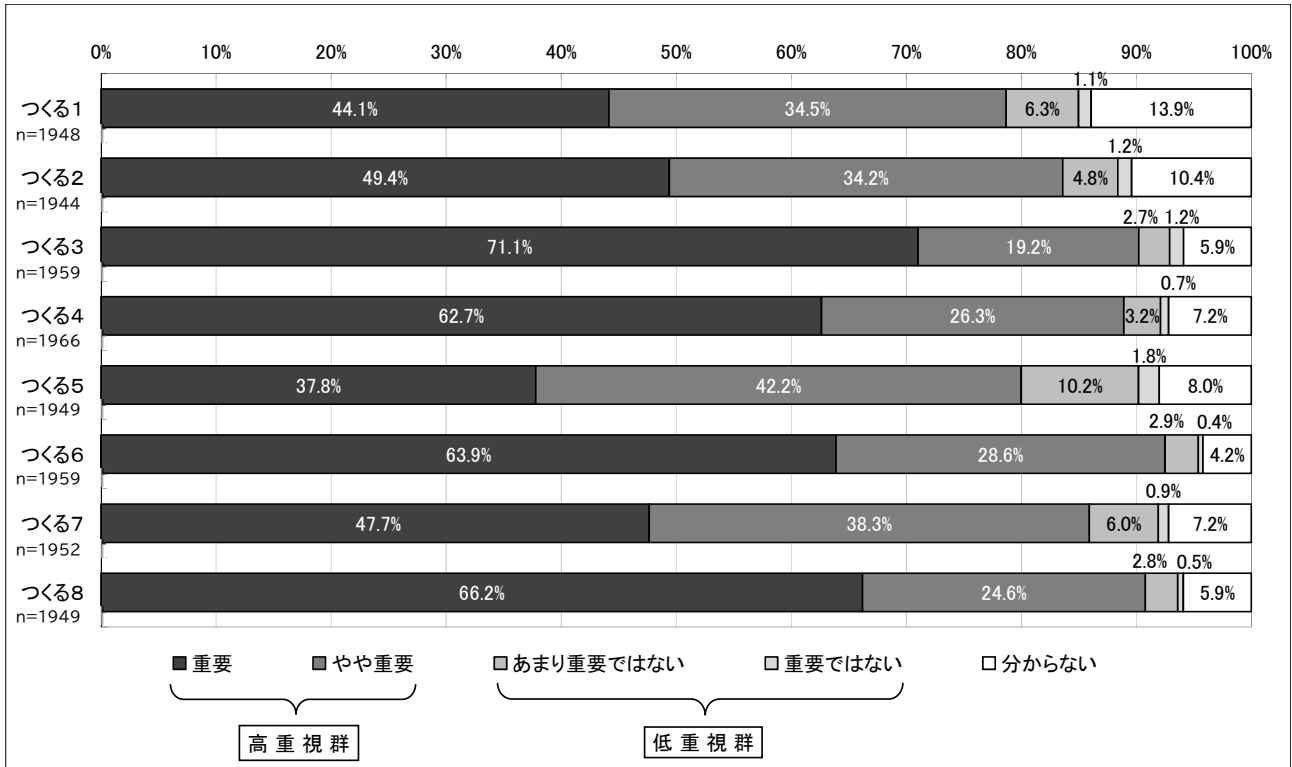


図 26 8つの「つくる」の満足度割合の比較 (県全体)

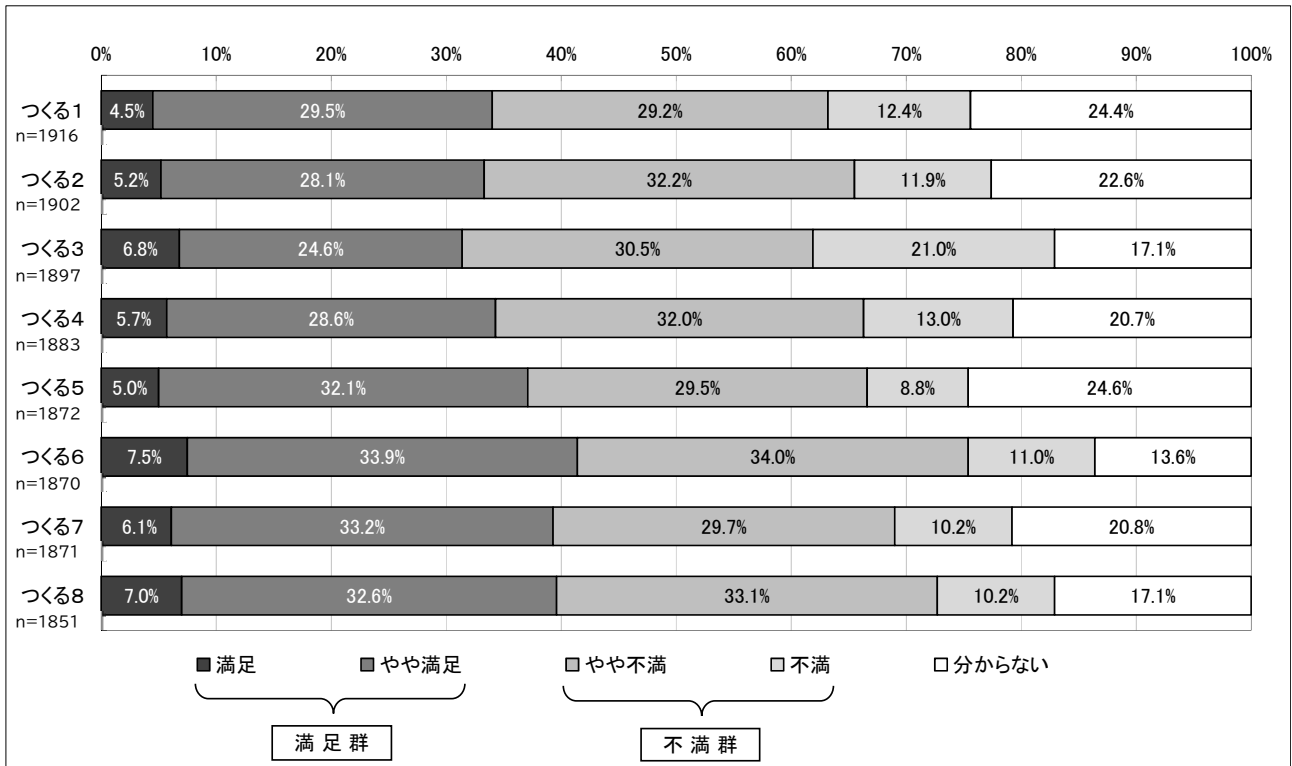


図 27 8つの「つくる」の「高重視群」,「満足群」,「不満群」の概要

新・宮城の将来ビジョンに基づく8つの「つくる」	高重視群		満足群		不満群	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位
つくる1 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	78.6	8	34.0	6	41.6	6
つくる2 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	83.6	6	33.3	7	44.1	④
つくる3 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	90.3	③	31.4	8	51.5	①
つくる4 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐむ教育環境をつくる	89.0	④	34.3	⑤	45.0	②
つくる5 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる	80.0	7	37.1	④	38.3	8
つくる6 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる	92.5	①	41.4	①	45.0	②
つくる7 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	86.0	⑤	39.3	③	39.9	7
つくる8 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	90.8	②	39.6	②	43.3	⑤

※1 上位1位から5位までについては、数字を○で囲んでいます。

## 2 テーマ別項目

テーマ別項目として、「暮らしの満足度について」、「防災意識について」、「宮城県の復旧・復興の進捗状況について」、「デジタル社会の実現について」、「障害のある人もない人も共生する社会について」、「学びの状況について」及び「宮城の治安について」を調査したところ、次のような結果となりました。

### (1) 暮らしの満足度について

#### 調査結果の概要

##### 【暮らしの満足度について】

- 県全体で、「暮らしの満足度」について、満足群が不満群を上回ったのは、「6 文化・芸術・スポーツへの親しみ（満足群 41.7%，不満群 36.9%）」で、その他はいずれも「不満群」が「満足群」を上回っています。
- 「満足群」が一番高かったのは、「9 身の回りの自然環境や公園の充実（44.0%）」、一方で「不満群」が一番高かったのは「1 仕事の状況や収入（59.2%）」となっています。

##### 【宮城で暮らして良かったと思うか】

- 県全体で、宮城県で暮らして良かったと思うかについて、「良かった（35.8%）」又は「どちらかといえば良かった（47.6%）」と回答している割合の合計は、83.4%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば良くなかった（5.1%）」又は「良くなかった（2.1%）」と回答している割合の合計は、7.2%となっています。

図 1 暮らしの満足度（仕事の状況や収入）について（県全体）

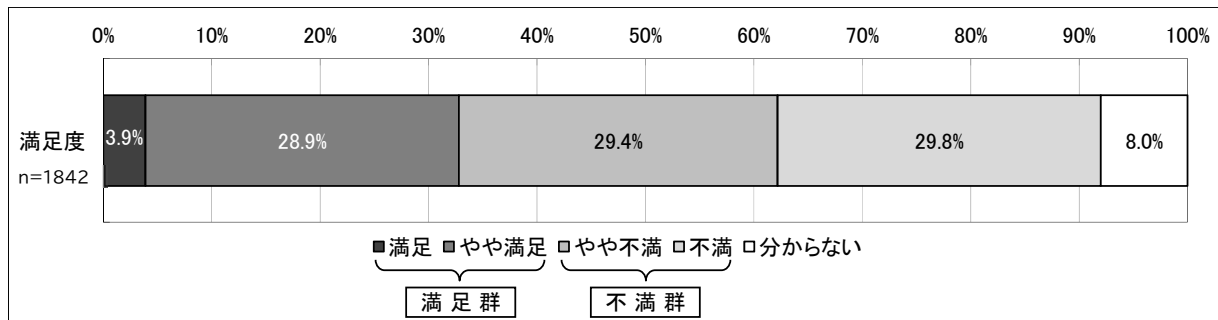


表 1-1 仕事の状況や収入に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別			年代別			圏域別						
		男性	女性		18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	32.8%	32.9%	32.7%		27.4%	34.2%	33.5%	34.6%	31.4%	31.9%	31.0%	35.7%	33.2%	32.9%

表 1-2 仕事の状況や収入に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別							
		男性	女性		18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	59.2%	60.5%	58.0%		65.9%	63.5%	54.5%	58.2%	61.7%	59.9%	62.0%	57.0%	57.6%	56.9%

図2 暮らしの満足度（ワークライフバランス（仕事と生活））について（県全体）

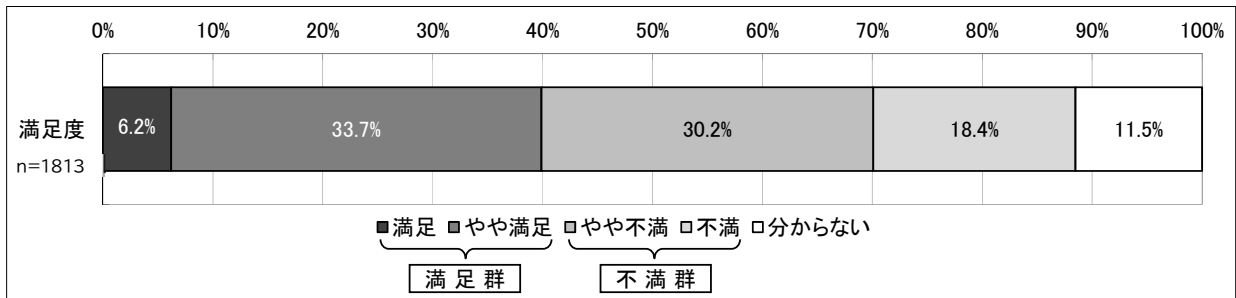


表 2-1 ワークライフバランス（仕事と生活）に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	39.9%	39.3%	40.5%	35.2%	42.1%	40.0%	38.3%	41.7%	43.6%	40.0%	42.0%	33.9%	40.4%

表 2-2 ワークライフバランス（仕事と生活）に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	48.6%	50.6%	46.7%	58.0%	54.2%	42.0%	46.6%	48.3%	47.2%	50.0%	47.1%	52.3%	47.2%

図3 暮らしの満足度（出産・子育てのしやすさ）について（県全体）

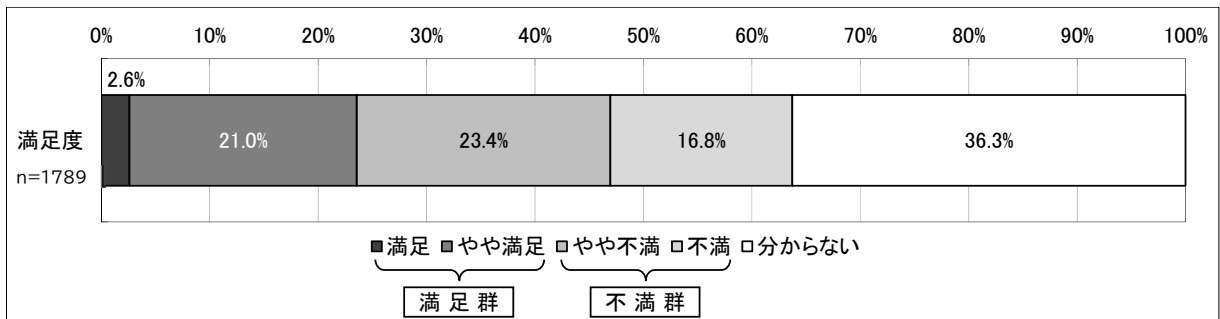


表 3-1 出産・子育てのしやすさに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	23.6%	21.4%	25.5%	17.3%	28.7%	22.2%	21.5%	26.9%	23.5%	26.6%	23.2%	23.5%	20.5%

表 3-2 出産・子育てのしやすさに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18~39歳	40~59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	40.2%	41.5%	39.0%	41.4%	40.8%	39.1%	43.9%	38.6%	42.5%	38.5%	41.2%	37.0%	38.2%



図4 暮らしの満足度（現在の学校教育の内容や環境）について（県全体）

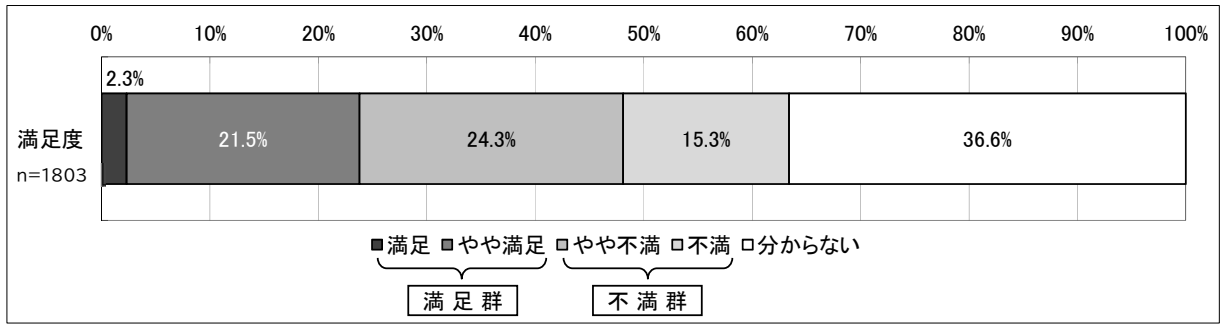


表4-1 現在の学校教育の内容や環境に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	23.8%	23.6%	23.8%	23.0%	26.9%	22.0%	21.7%	18.5%	24.6%	25.5%	28.4%	26.7%	21.4%

表4-2 現在の学校教育の内容や環境に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	39.6%	40.2%	39.3%	40.2%	41.3%	38.4%	40.2%	46.3%	41.8%	38.9%	35.4%	36.5%	37.7%

図5 暮らしの満足度（コミュニティの賑わいなど社会とのつながり）について（県全体）

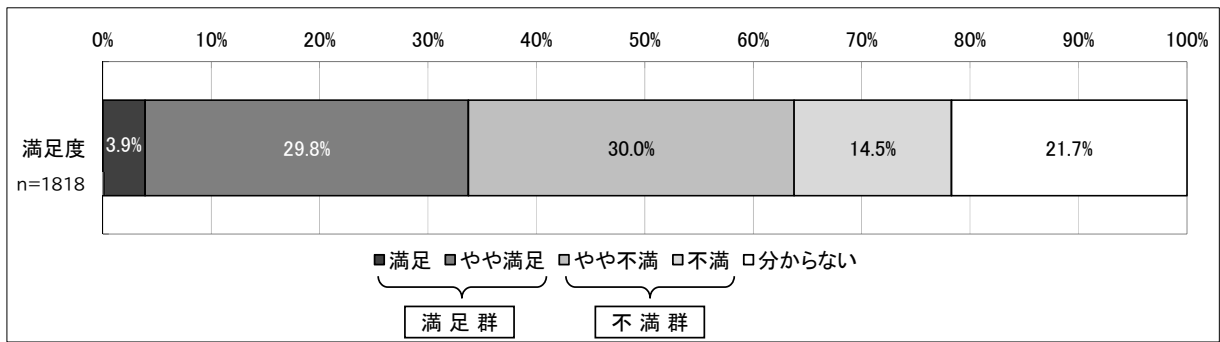


表5-1 コミュニティの賑わいなど社会とのつながりに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	33.7%	30.1%	36.7%	32.0%	34.8%	33.4%	33.6%	28.9%	33.6%	35.6%	40.4%	30.2%	34.7%

表5-2 コミュニティの賑わいなど社会とのつながりに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	44.5%	49.9%	40.1%	36.9%	43.5%	47.4%	41.6%	47.3%	45.1%	48.4%	38.8%	45.2%	43.8%

図6 暮らしの満足度（文化・芸術・スポーツへの親しみ）について（県全体）

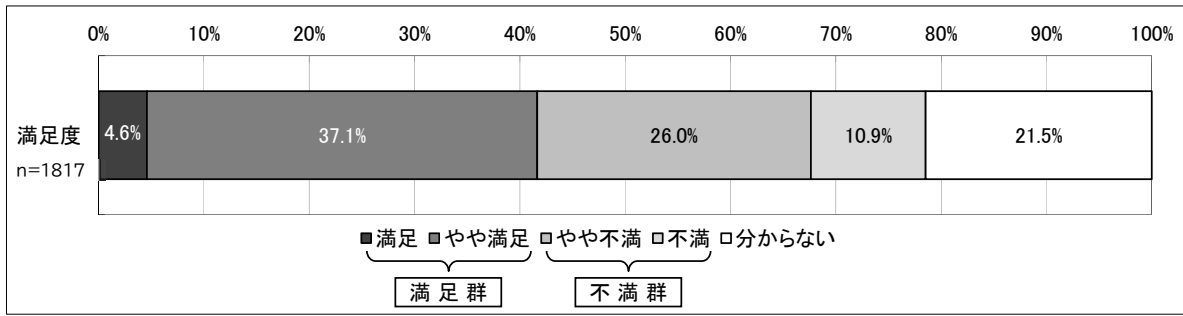


表6-1 文化・芸術・スポーツへの親しみに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	41.7%	41.4%	42.0%	43.6%	42.1%	40.9%	42.4%	50.4%	41.5%	34.7%	45.1%	38.7%	39.7%

表6-2 文化・芸術・スポーツへの親しみに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	36.9%	41.4%	32.8%	27.8%	36.4%	39.6%	35.2%	32.0%	33.7%	44.7%	34.1%	42.6%	34.5%

図7 暮らしの満足度（医療・福祉・介護サービス）について（県全体）

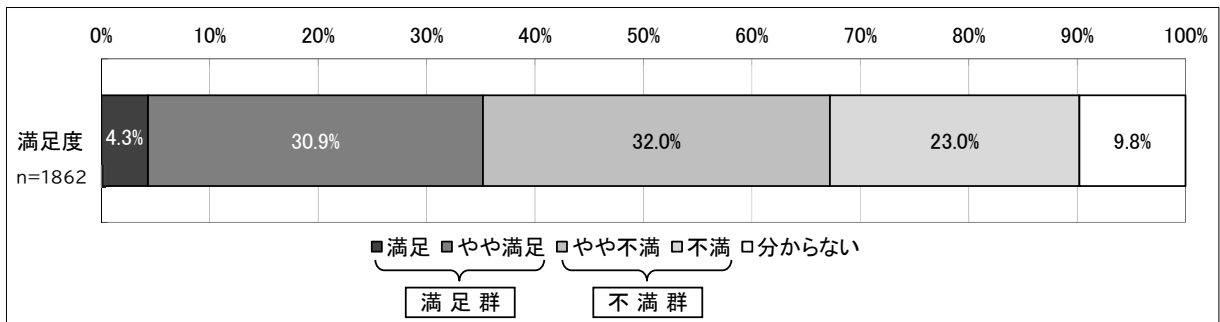


表7-1 医療・福祉・介護サービスに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	35.2%	35.7%	34.9%	36.7%	28.8%	38.9%	29.7%	38.8%	37.5%	40.2%	33.5%	35.5%	30.9%

表7-2 医療・福祉・介護サービスに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	55.0%	55.6%	54.4%	44.6%	61.2%	53.8%	60.6%	52.5%	51.6%	51.4%	56.9%	51.9%	59.5%

図8 暮らしの満足度（余暇活動や生きがいなど生活の楽しさ）について（県全体）

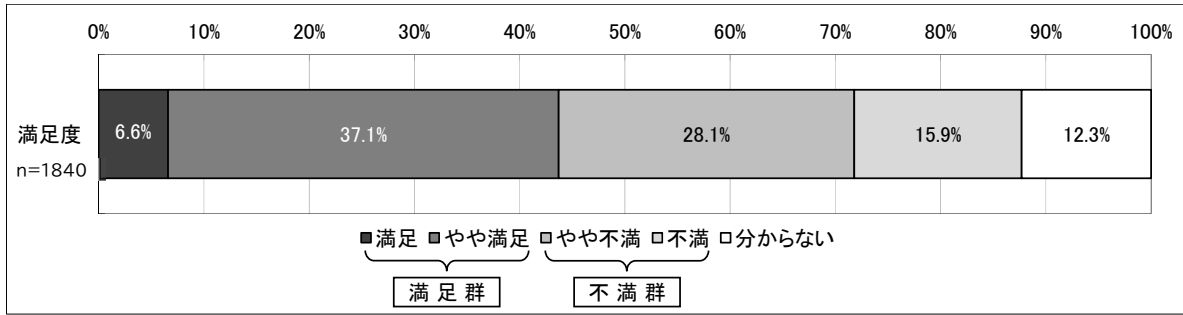


表8-1 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさに対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	43.7%	41.1%	45.9%	46.0%	40.2%	45.1%	45.5%	46.4%	43.1%	37.0%	46.9%	43.6%	44.9%

表8-2 余暇活動や生きがいなど生活の楽しさに対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	44.0%	47.7%	40.6%	37.5%	47.8%	43.4%	44.3%	38.3%	45.1%	50.0%	41.5%	42.4%	44.1%

図9 暮らしの満足度（身の回りの自然環境や公園の充実）について（県全体）

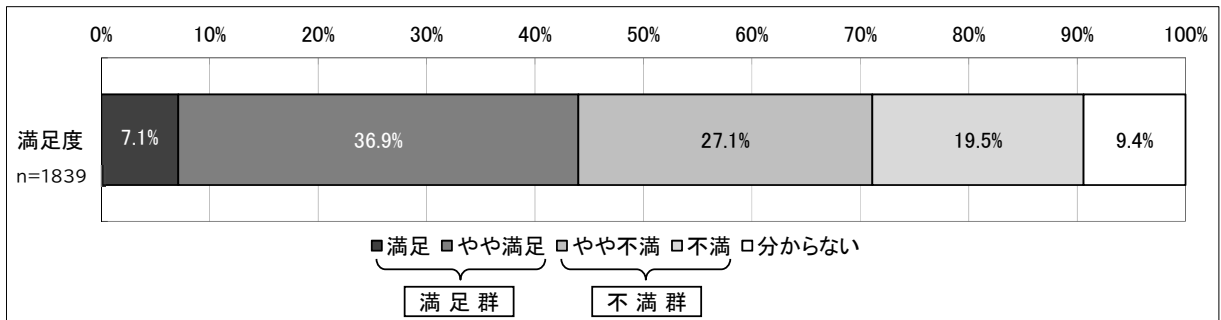


表9-1 身の回りの自然環境や公園の充実に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	44.0%	42.2%	45.6%	42.3%	45.8%	43.5%	46.6%	48.1%	35.3%	35.6%	46.9%	44.8%	51.9%

表9-2 身の回りの自然環境や公園の充実に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	46.6%	48.9%	44.6%	45.3%	45.9%	47.2%	42.0%	45.8%	55.8%	52.3%	43.0%	45.5%	41.4%

図 10 暮らしの満足度（安心安全のための防犯や防災）について（県全体）

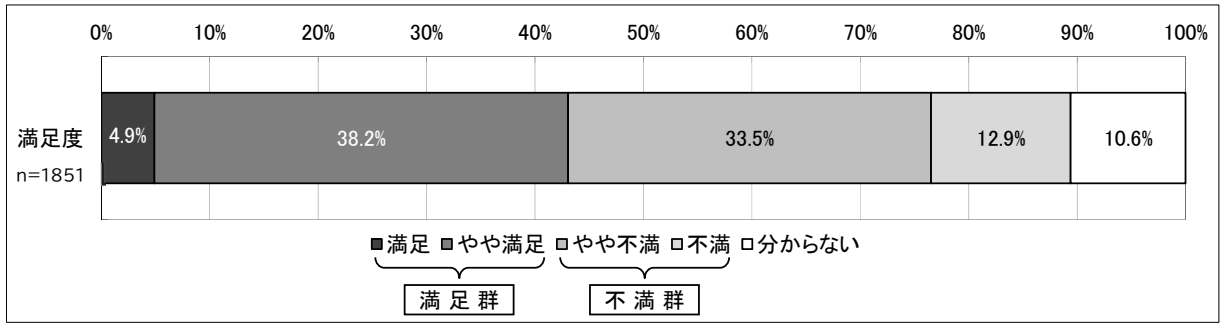


表 10-1 安心安全のための防犯や防災に対する満足群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
満足群	43.1%	40.2%	45.6%	40.8%	44.9%	42.6%	38.0%	45.7%	40.7%	42.3%	45.3%	38.3%	52.8%

表 10-2 安心安全のための防犯や防災に対する不満群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
不満群	46.4%	49.8%	43.2%	43.8%	43.9%	48.4%	50.1%	46.8%	50.6%	44.7%	44.5%	48.8%	37.0%

図 11 「宮城で暮らして良かったと思うか」について（県全体）

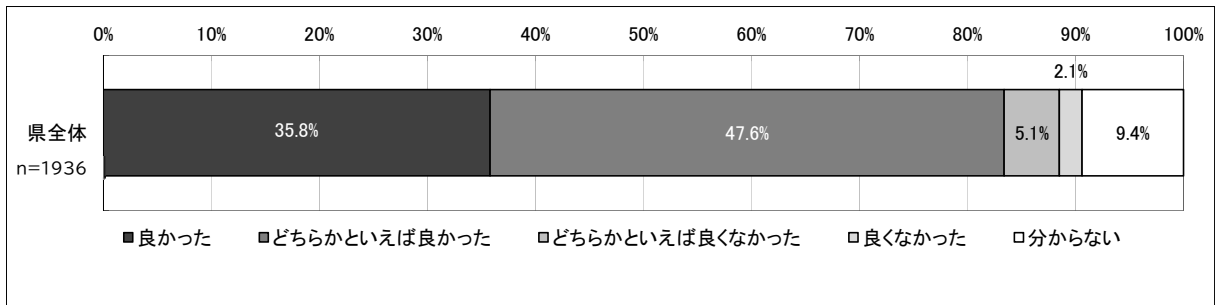


表 11-1 「宮城で暮らして良かったと思うか」という問に対する良かった群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
良かった群	83.4%	81.9%	84.7%	83.7%	81.0%	84.6%	85.5%	84.6%	84.3%	82.7%	84.3%	84.4%	78.7%

表 11-2 「宮城で暮らして良かったと思うか」という問に対する良くなかった群割合（回答者属性別）

区分	県全体	性別		年代別			圏域別						
		男性	女性	18～39歳	40～59歳	60歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
良くなかった群	7.2%	7.8%	6.7%	7.6%	8.5%	6.4%	6.4%	10.1%	4.8%	6.8%	4.7%	7.4%	10.3%

## (2) 防災意識について

### 調査結果の概要

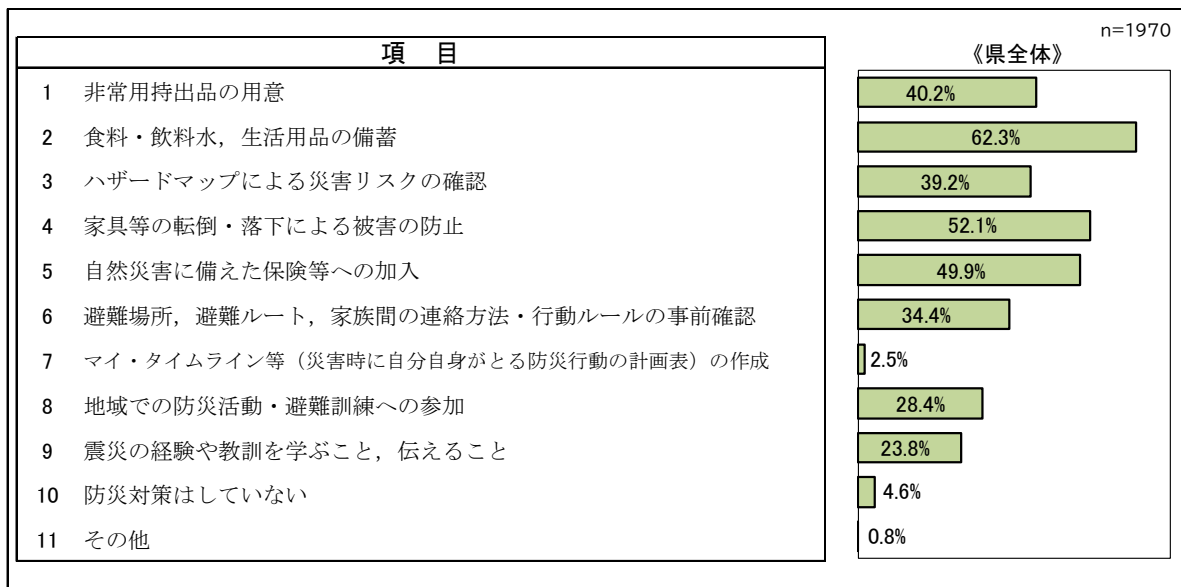
#### 【地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策】

○県全体で、「地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策」について、「2 食料・飲料水、生活用品の備蓄 (62.3%)」が最も多く、次いで「4 家具等の転倒・落下による被害の防止 (52.1%)」、「5 自然災害に備えた保険等への加入 (49.9%)」の順となっています。

#### 【防災対策をしていない主な理由】

○県全体で、「日頃行っている防災対策」について「防災対策はしていない」の回答のうち、「防災対策をしていない主な理由」について、回答が最も多かったのは、「3 費用が負担になるから (36.0%)」で、次いで「1 役に立つかどうか分からないから (32.6%)」、「4 災害が起きても自分の地域は大丈夫と思うから (27.0%)」の順となっています。

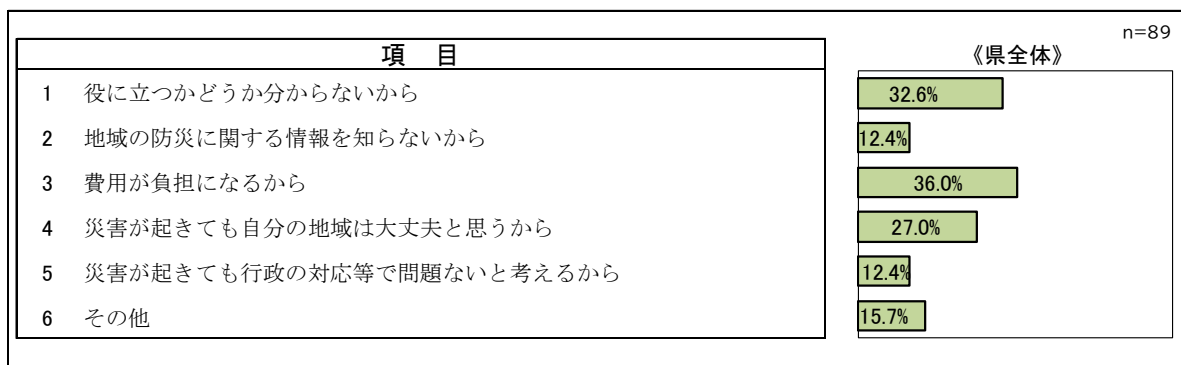
図 1 2 地震・津波・風水害等の自然災害に備え、日頃行っている対策（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 1 3 防災対策をしていない主な理由（県全体）

（図 1 2 で「10 防災対策はしていない」を選んだ方が対象）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(3) 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

調査結果の概要

【東日本大震災の風化の実感】

- 県全体で、「東日本大震災の風化の実感」について、「進んでいると感じる」又は「やや進んでいる」と回答している割合の合計は、74.8%となっています。
- 一方で、「あまり進んでいないと感じる」又は「進んでいないと感じる」と回答している割合の合計は、19.6%となっています。

【東日本大震災の風化が進んでいると感じる時】

- 県全体で、「震災の風化が進んでいる（やや進んでいる）」の回答のうち、「東日本大震災の風化が進んでいると感じる時」について、回答が最も多かったのは、「1 自分自身の意識（55.4%）」で、次いで「5 新聞やテレビなどでの取り上げ方（43.4%）」、「7 行政の予算や支援（26.7%）」の順となっています。

【宮城県の復旧・復興の取組について、遅れていると感じる取組】

- 県全体で、「東日本大震災の風化が進んでいると感じる取組」について、「7 雇用の維持・確保（43.2%）」が最も多く、次いで「14 情報発信（41.5%）」及び「3 地域コミュニティ再生（35.4%）」、「12 除染関連（35.4%）」の順となっています。

図 14 東日本大震災の風化の実感（県全体）

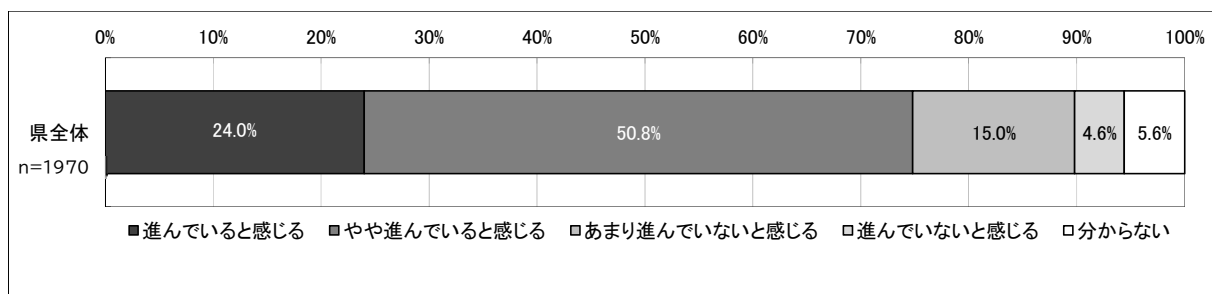
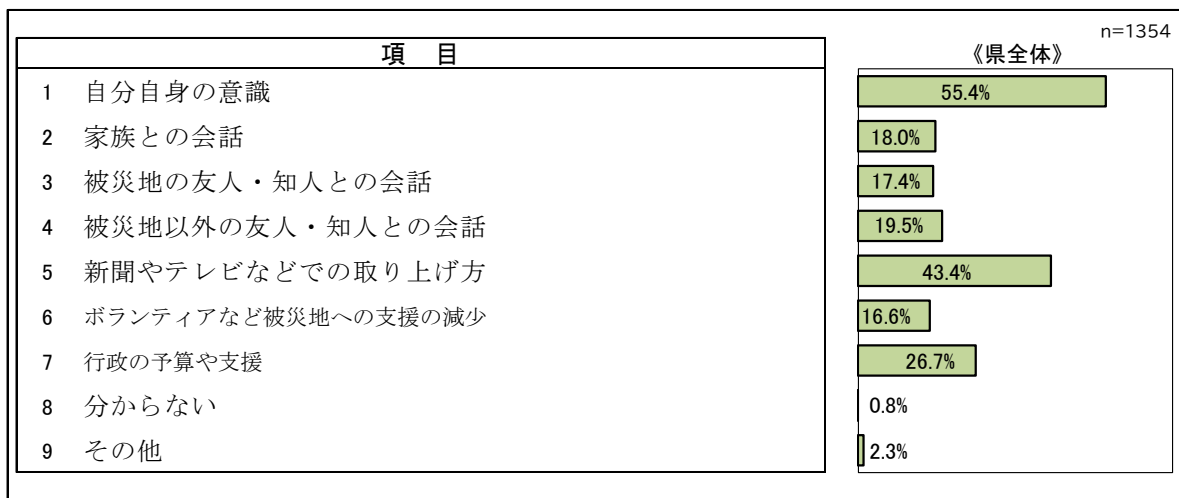
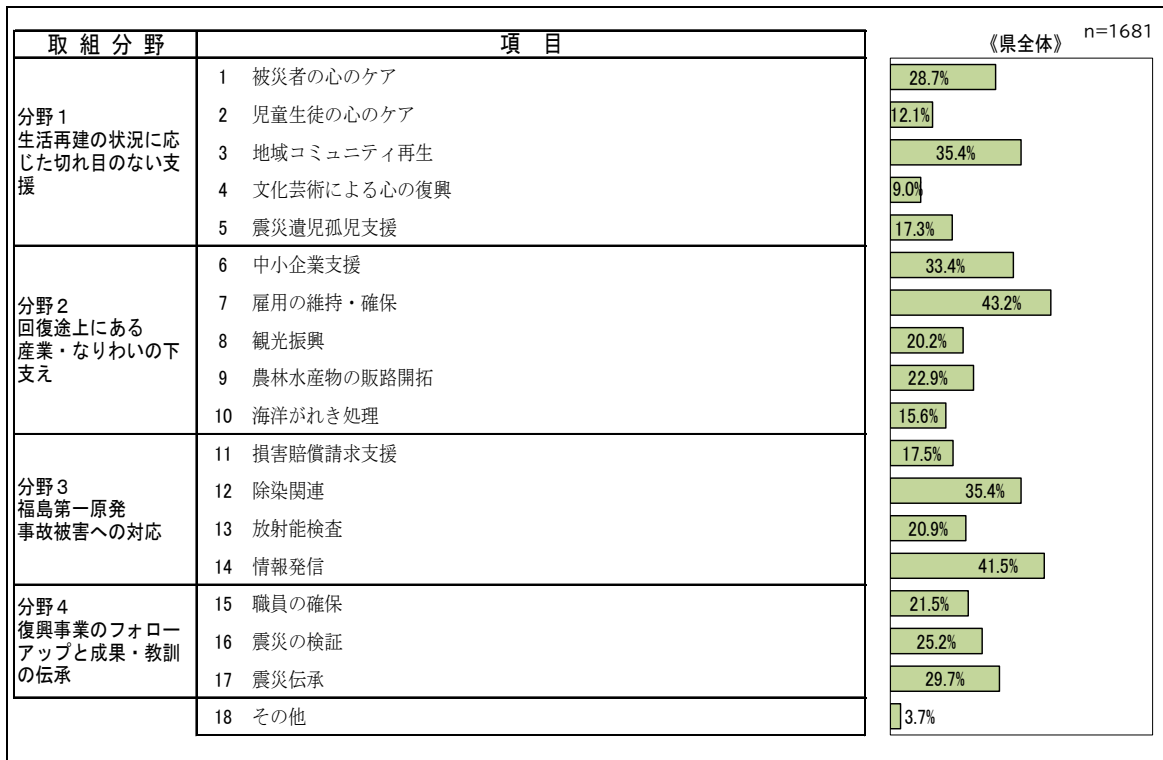


図 15 震災の風化が進んでいると感じる時（県全体）  
 （図 14 で「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」を選んだ方が対象）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 1 6 復旧・復興の取組について、遅れていると感じる取組（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

#### (4) デジタル社会の実現について

##### 調査結果の概要

###### 【デジタル社会の実現への取組の重要度】

- 県全体で、「デジタル社会の実現への取組の重要度」について、「重要である (26.0%)」又は「やや重要である (33.8%)」と回答している割合の合計は、59.8%となっています。
- 一方で、「あまり重要でない (12.5%)」又は「重要でない (3.9%)」と回答している割合の合計は、16.4%となっています。

###### 【今後デジタル化を推進すべきと考える分野】

- 県全体で、「デジタル化を推進すべきと考える分野」について、「6 医療・福祉・安心安全 (62.1%)」が最も多く、次いで「4 教育 (33.0%)」、「8 防災・社会インフラ (28.4%)」の順となっています。

###### 【中小企業のデジタル化支援の取組の認知状況】

- 県全体で、「デジタル化支援の取組の認知状況」について、「すべてを知っている (1.7%)」、「2つまたは3つを知っている (9.7%)」、「1つを知っている (16.3%)」と回答している割合の合計は、27.7%となっています。
- 一方で、「すべて知らない」と回答している割合は、72.3%となっています。

###### 【マイナンバーカードの保持状況】

- 県全体で、「マイナンバーカードの保持状況」について、「持っている」と回答している割合は、60.3%となっています。
- 一方で、「持っていない」と回答している割合は、39.7%となっています。

###### 【マイナンバーカードを保持していない理由】

- 県全体で、「持っていない」の回答のうち、「マイナンバーカードを保持していない理由」について、回答が最も多かったのは、「3 個人情報の漏えいが心配だから (50.7%)」で、次いで「1 取得する必要性が感じられないから (41.2%)」、「5 申請手続きが面倒だから (34.0%)」の順となっています。

###### 【希望する申請手数料等のオンライン納付方法】

- 県全体で、「希望する申請手数料等のオンライン納付方法」について、「1 クレジットカード(デビットカード含) (57.5%)」が最も多く、次いで「2 スマートフォン決済アプリ(バーコード・QRコード) (43.0%)」、「4 その他 (16.4%)」の順となっています。

図17 デジタル社会の実現への取組の重要度 (県全体)

〔宮城県では2020年に「みやぎデジタルファースト宣言」を発表し、「誰一人取り残さないデジタル社会の実現」を目指しているが、この取組についてどう思うか。〕

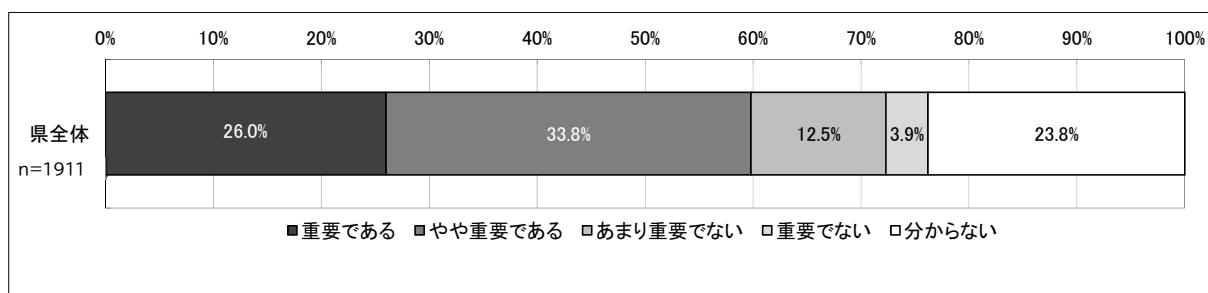
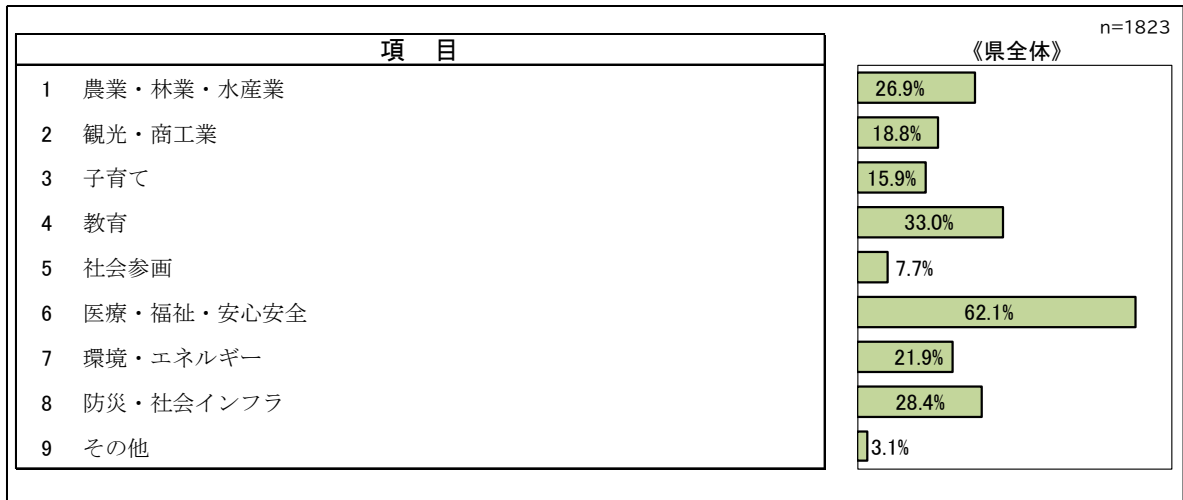




図18 今後デジタル化を推進すべきと考える分野（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図19 中小企業のデジタル化支援の取組の認知状況（県全体）

宮城県が次の①～④の取組を実施していることを知っているか。  
 ①アドバイザー派遣 ②導入経費助成 ③人材育成研修 ④セミナー

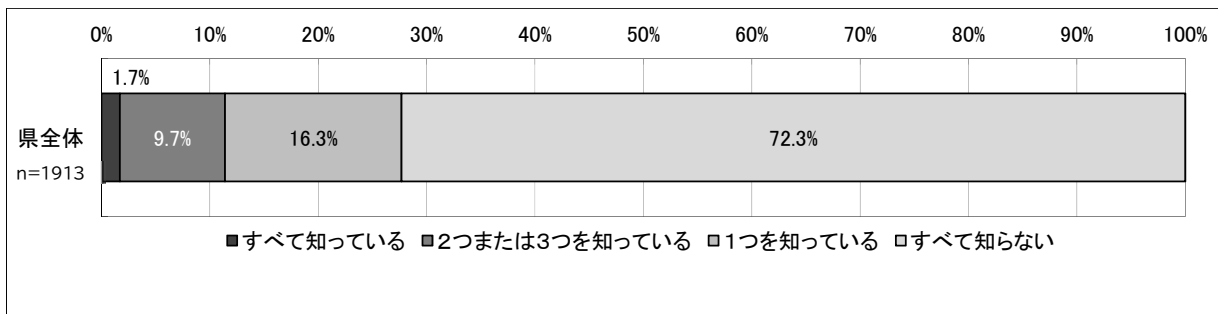


図 2 0 マイナンバーカードの保持状況（県全体）

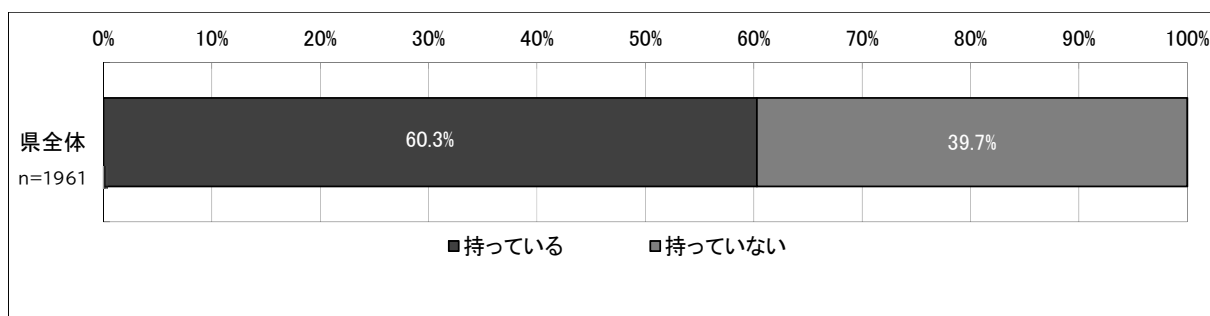
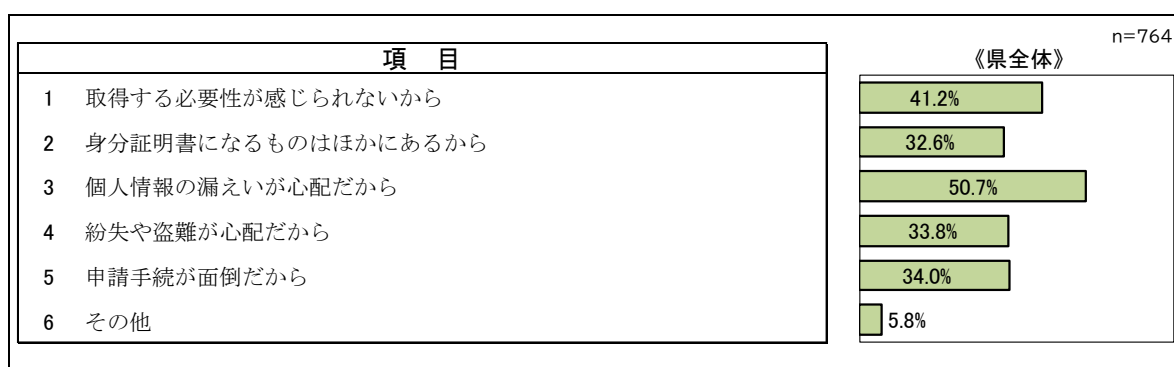
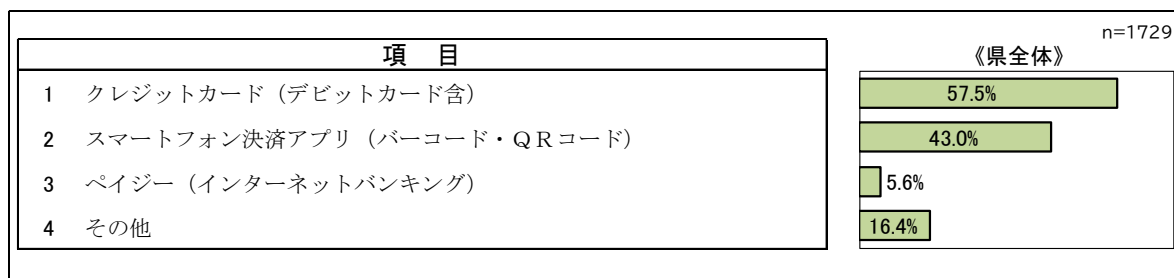


図 2 1 マイナンバーカードを保持していない理由（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 2 2 行政手続き上、必要となる申請手数料等について、希望するオンライン納付方法（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

(5) 障害のある人もない人も共生する社会について

調査結果の概要

【「障害者差別解消法」や「県条例」の認知度】

- 県全体で、「障害者差別解消法」や「県条例」の認知度について、「知っていた」と回答している割合は、26.7%となっています。
- 一方で、「知らなかった」と回答している割合は、73.3%となっています。

【障害を理由に差別された、している、されている場面の経験】

- 県全体で、「差別された、している、されている場面の経験」について、「自分自身が経験したことがある(3.2%)」、「居合わせたことがある(20.6%)」、「両方の経験がある(2.6%)」と回答している割合の合計は、26.4%となっています。
- 一方で「ない」と回答している割合は、73.6%となっています。

【差別されていた場所】

- 県全体で、「経験したことがある・居合わせたことがある・両方の経験がある」の回答のうち、「差別されていた場所」について、回答が最も多かったのは「2 学校・塾(34.1%)」で、次いで「3 職場(33.1%)」、「6 交通機関(駅を含む)(28.3%)」の順となっています。

【差別されていた内容】

- 県全体で、「経験したことがある・居合わせたことがある・両方の経験がある」の回答のうち、「差別されていた内容」について、回答が最も多かったのは、「4 障害のある人に対する偏見を感じるような対応をすること(75.3%)」で、次いで「2 障害のある人が困っているときに手助けしないこと(32.9%)」、「3 障害のある人とのコミュニケーションに配慮しないこと(26.1%)」の順となっています。

【「合理的な配慮」の認知度】

- 県全体で、「合理的な配慮」の認知度について、「知っていた」と回答している割合は、16.8%となっています。
- 一方で、「知らなかった」と回答している割合は、83.2%となっています。

図23 「障害者差別解消法」や「県条例※」の認知度(県全体)  
 ※宮城県で制定した「障害を理由とする差別を解消し障害のある人もない人も共生する社会づくり条例」(令和3年4月施行)

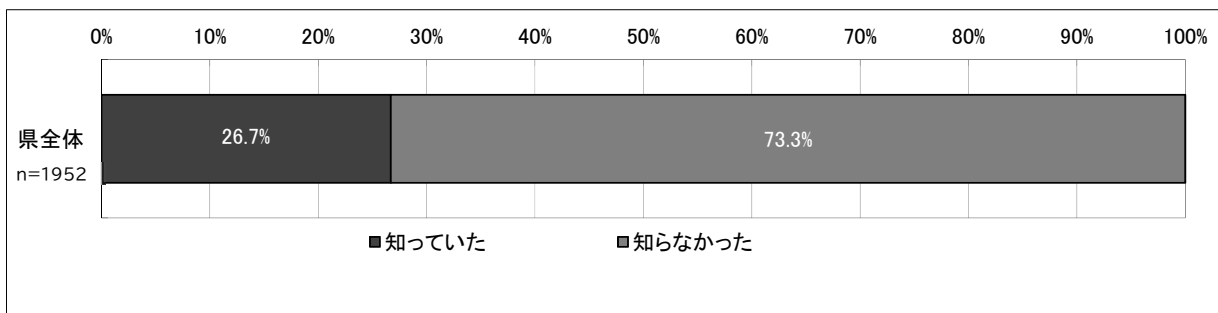


図24 障害を理由に差別された経験や、ほかの誰かが差別している、されている場面に居合わせた経験(県全体)

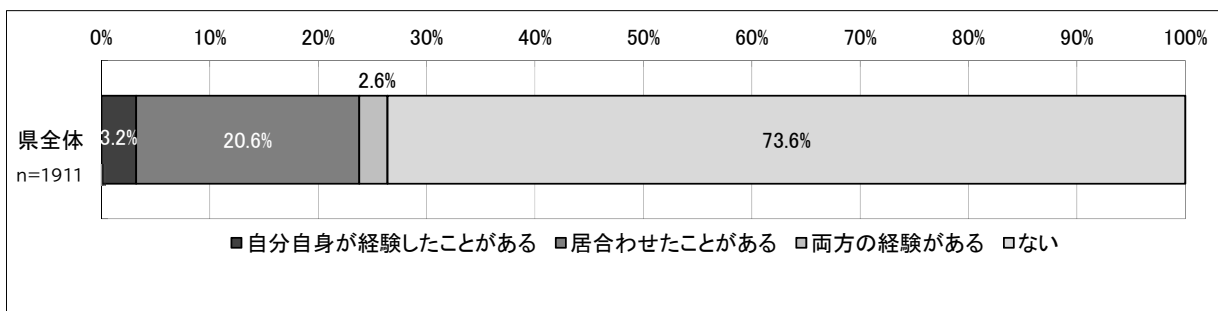
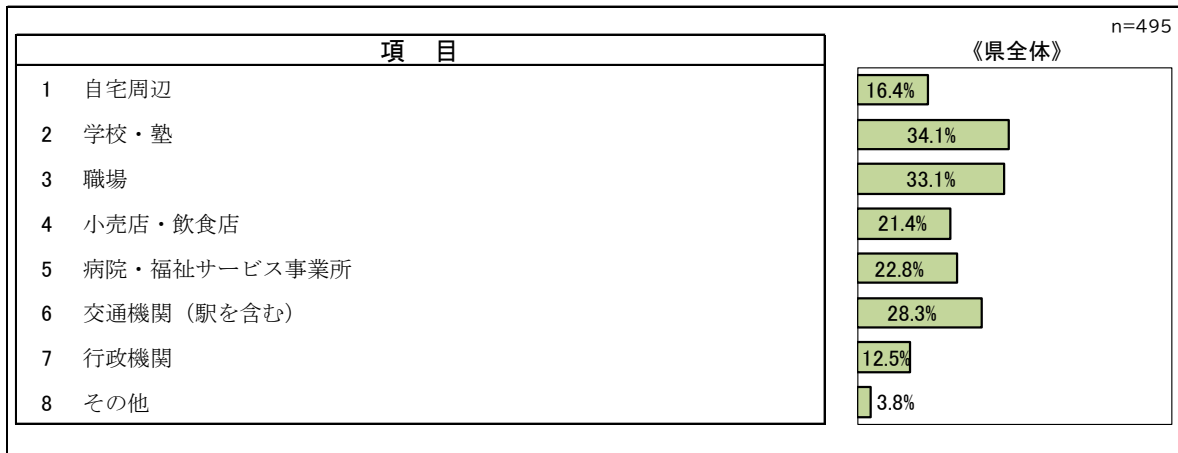


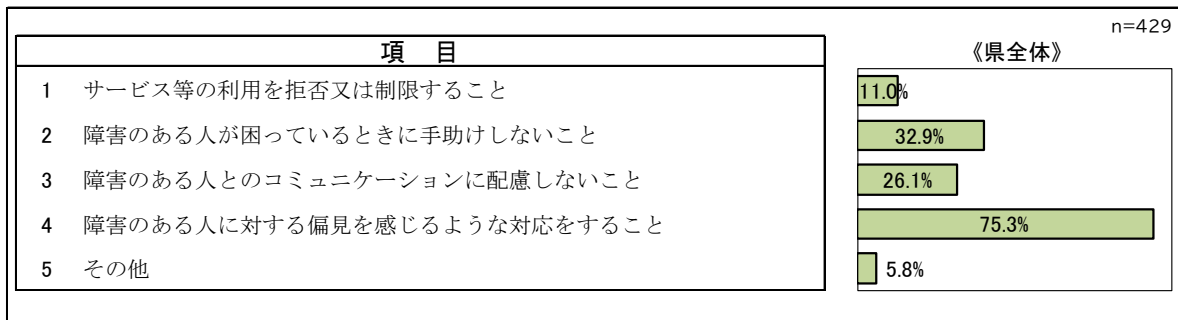
図 2 5 差別されていた場所（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

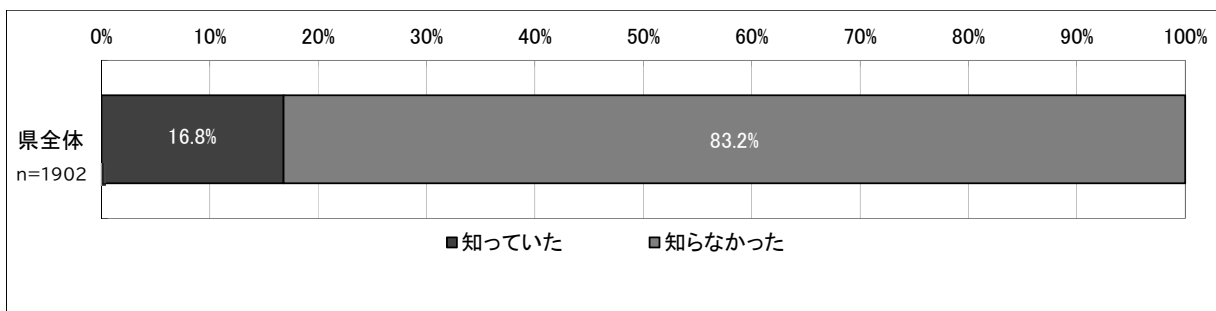
図 2 6 差別されていた内容（県全体）

〔 図 2 4 で「自分自身が経験したことがある」「居合わせたことがある」  
「両方の経験がある」を選んだ方が対象 〕



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図 2 7 「合理的な配慮※」の認知度（県全体）



※合理的な配慮…障害のある人からの求めに応じて、負担が大きすぎない範囲で、障害のある人にとって障壁となるようなものを取り除くことについて、必要な配慮を行うこと。  
障害者差別解消法や県条例で、行政機関や民間事業者の義務としている。

(6) 学びの状況について

調査結果の概要

【1年間に行った学習活動】

- 県全体で、「1年間に行った学習活動」について、「1 仕事に関する学習活動（仕事をする上で役にたつことや転職のためなど）(27.6%)」で、次いで「2 趣味に関する学習活動（習い事や練習，スポーツなど）(26.1%)」，「3 生活に関する学習活動（料理教室や健康，子育てに関することなど）(11.4%)」の順となっています。
- 一方で、「5 特に行っていない」と回答している割合は，47.2%となっています。

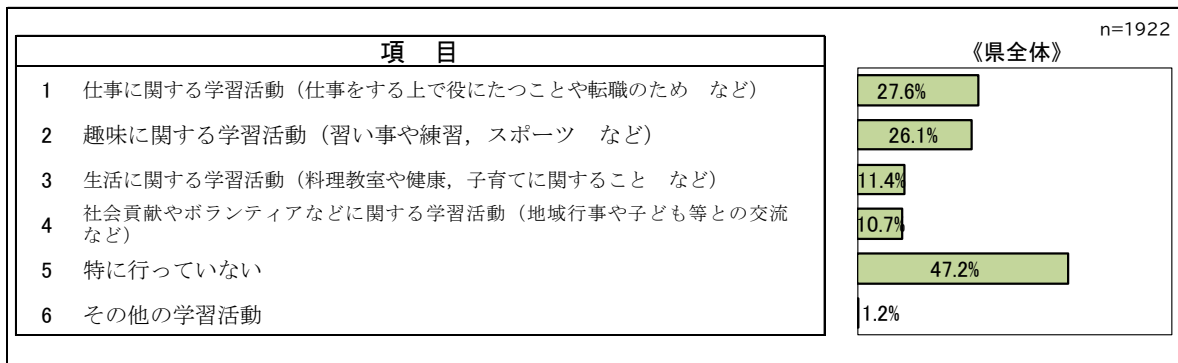
【学習活動を行った主な場所】

- 県全体で、「学習活動をした」回答のうち、「学習活動を行った主な場所」について，回答が最も多かったのは，「1 インターネット (42.2%)」で，次いで「2 職場の教育，研修 (32.4%)」，「3 自宅での学習活動 (32.4%)」及び「6 公民館や学習センターなど公的な機関における講座や教室 (24.0%)」の順となっています。

【今後の学習活動への関心度】

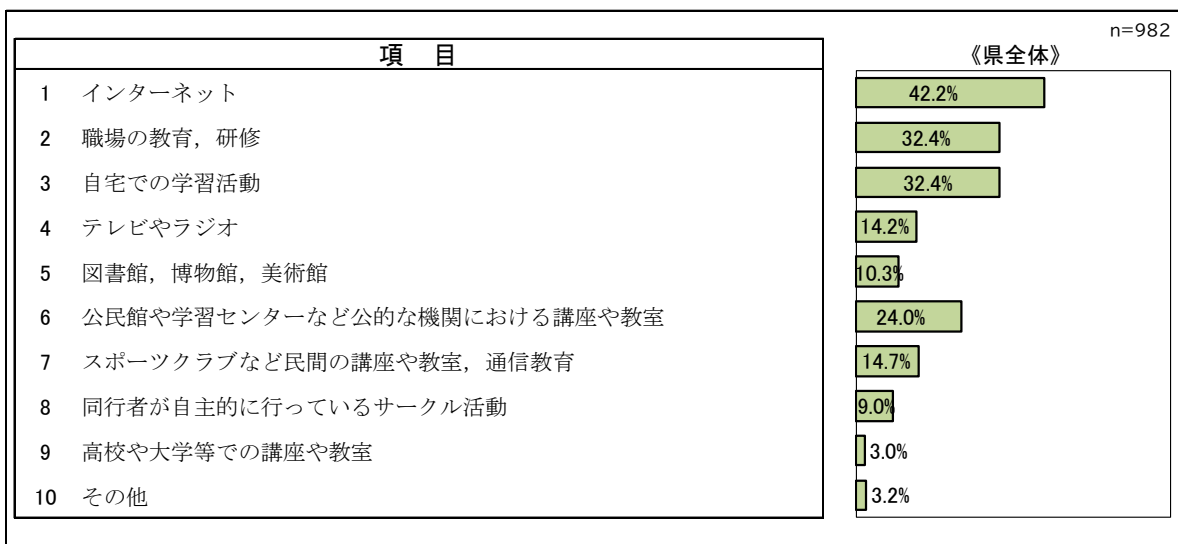
- 県全体で、「今後の学習活動への関心度」について，すべての項目で希望群が非希望群を上回っています。
- 「希望群」が一番高かったのは，「趣味に関する学習活動（習い事や練習，スポーツなど）(76.0%)」，一方で「非希望群」が一番高かったのは，「社会貢献やボランティアに関する学習活動（地域行事や子ども，障害者との交流など）(45.3%)」となっています。

図28 この1年間に行った学習活動（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり，回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図29 学習活動を行った主な場所（県全体）  
（図28で1，2，3，4，6を選んだ方が対象）



※「割合 (%)」は複数回答であり，回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図30 今後の学習活動への関心度 [仕事に関する学習活動 (仕事をする上で役に立つことや転職のためなど)]

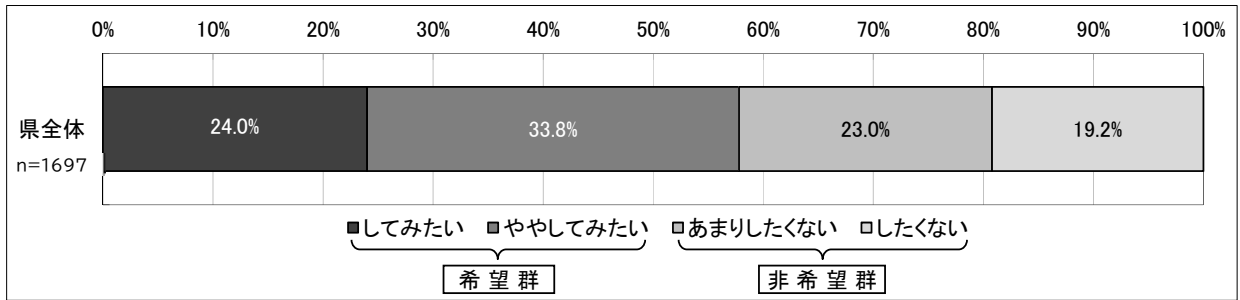


図31 今後の学習活動への関心度 [趣味に関する学習活動 (習い事や練習, スポーツなど)]

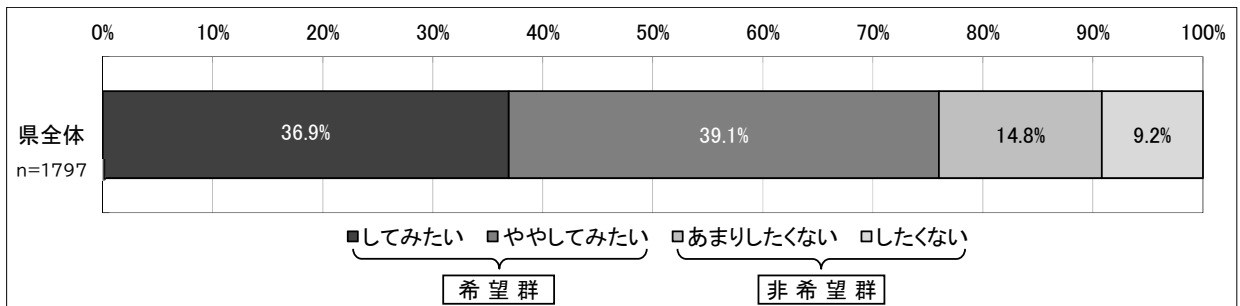


図32 今後の学習活動への関心度 [生活に関する学習活動 (料理教室や健康, 子育てに関することなど)]

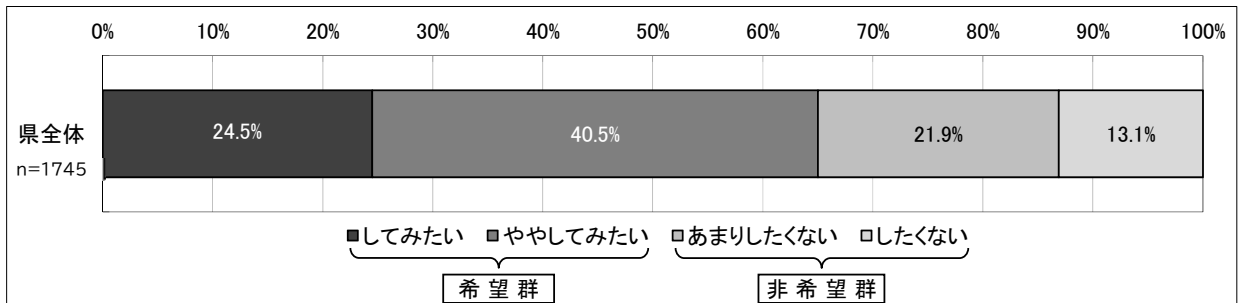
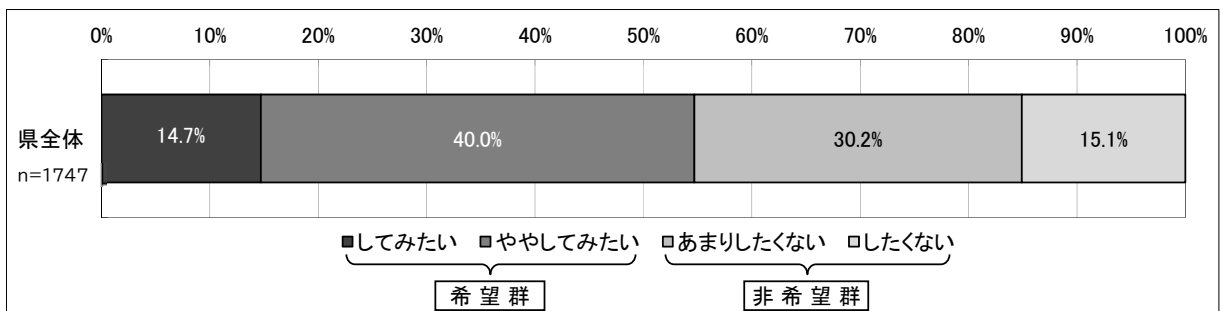


図33 今後の学習活動への関心度 [社会貢献やボランティアに関する学習活動 (地域の行事や, 子ども, 障害者との交流など)]



(7) 宮城の治安について

調査結果の概要

【宮城県の治安をどのように感じているか】

- 県全体で、「宮城県の治安をどのように感じているか」について、「良い (14.3%)」又は「どちらかといえば良い (62.1%)」と回答している割合の合計は、76.4%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば悪い (10.7%)」又は「悪い (2.4%)」と回答している割合の合計は、13.1%となっています。

【宮城県の治安が悪いと感じる理由】

- 県全体で、「宮城県の治安が悪い (どちらかといえば悪い)」の回答のうち、「宮城県の治安が悪いと感じる理由」について、回答が最も多かったのは、「1 事件や事故が多くなったと感じるから (72.8%)」で、次いで「2 身近な場所で犯罪が発生しているから (50.0%)」、「3 凶悪事件などがマスコミなどで報じられているから (34.0%)」の順となっています。

【自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所】

- 県全体で、「自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所」について、「3 路上 (43.4%)」が最も多く、次いで「1 繁華街 (40.2%)」及び「8 インターネット空間 (40.2%)」の順となっています。

【重点的に取り締まってほしいと思う犯罪】

- 県全体で、「重点的に取り締まってほしいと思う犯罪」について、「1 殺人、強盗などの凶悪な犯罪 (62.7%)」が最も多く、次いで「1 4 特殊詐欺や悪質商法などの詐欺 (57.9%)」、「2 暴行、傷害などの粗暴な犯罪 (57.2%)」の順となっています。

図 3 4 宮城県の治安をどのように感じているか (県全体)

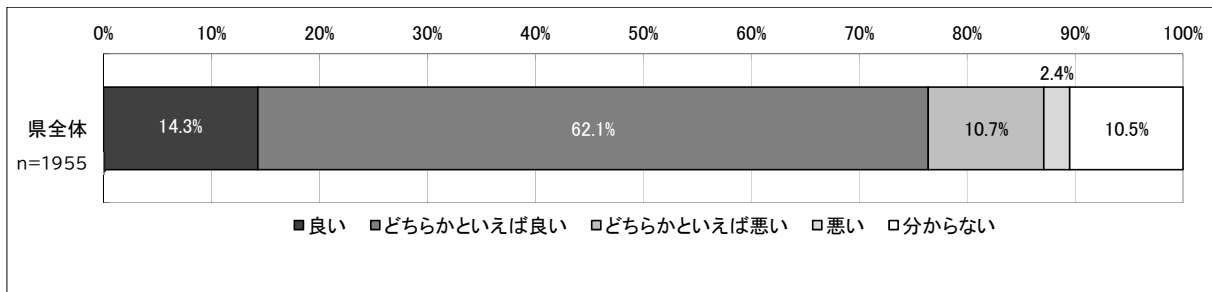
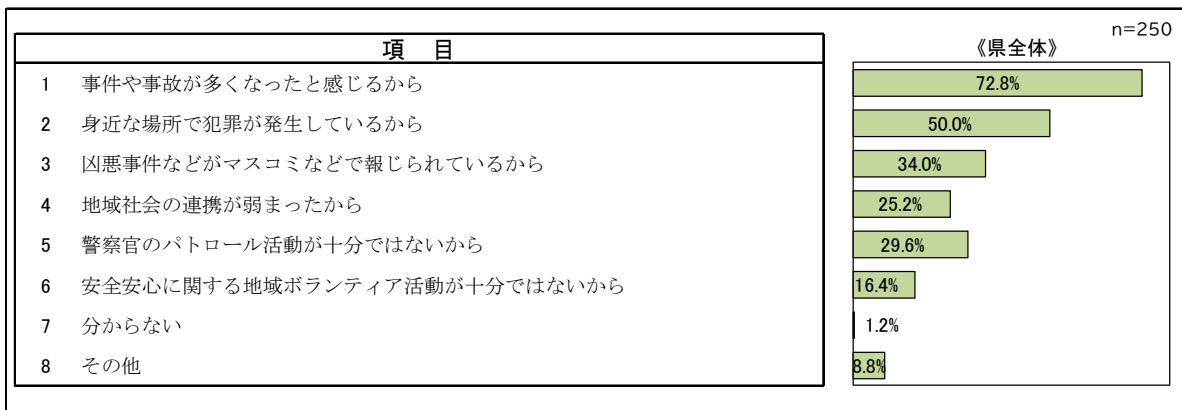
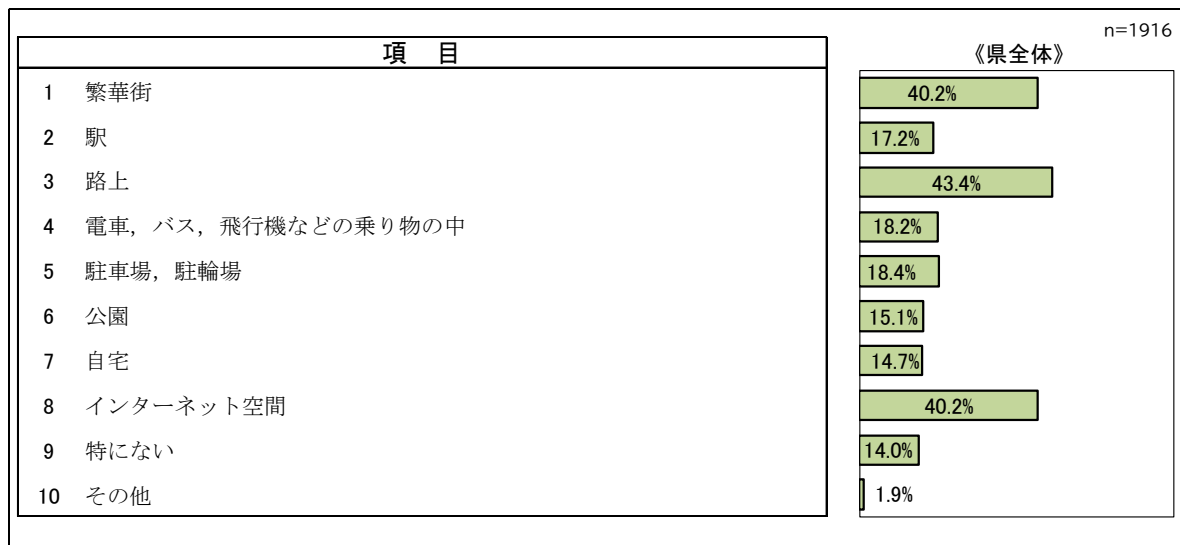


図 3 5 宮城県の治安が悪い (どちらかといえば悪い) と感じる理由 (県全体)



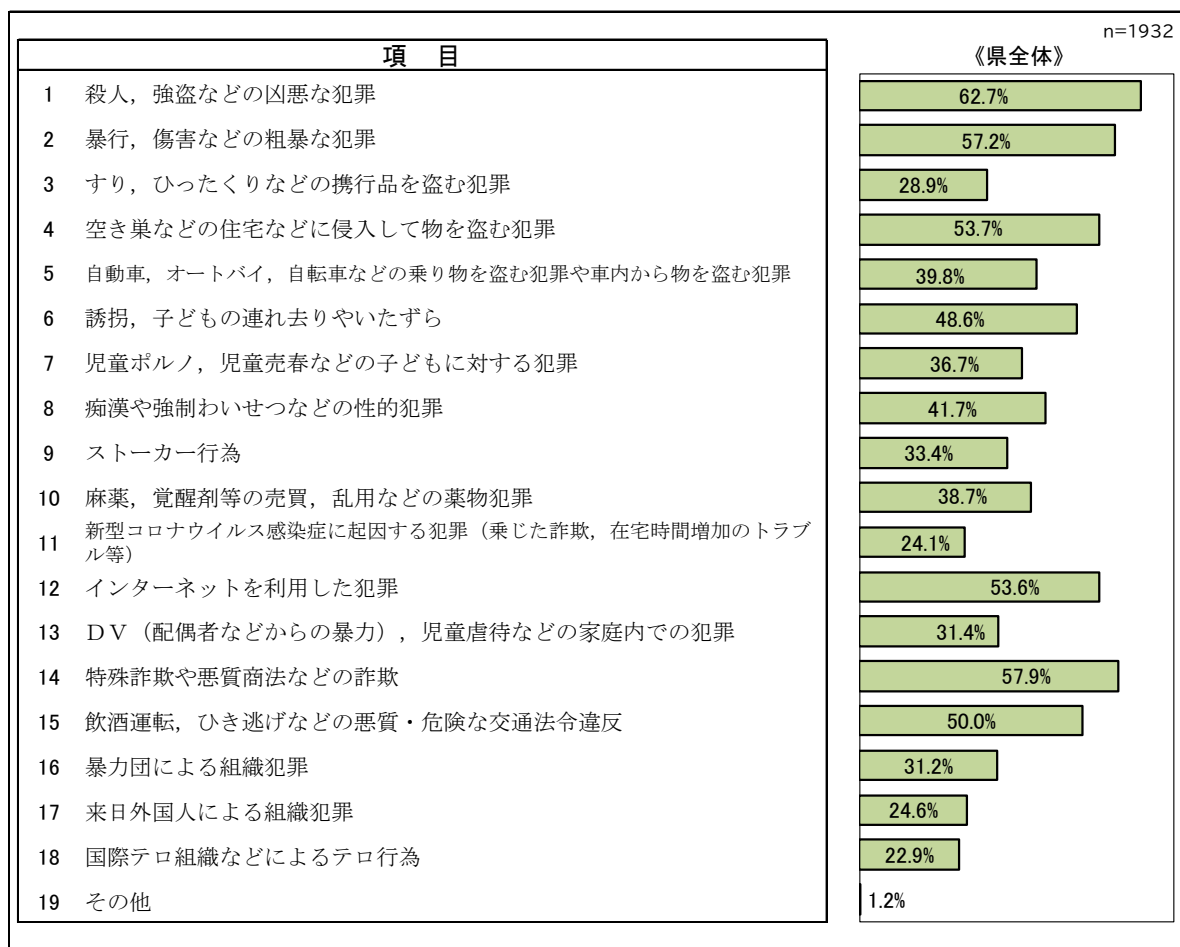
※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図36 自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。

図37 重点的に取り締まってほしいと思う犯罪（県全体）



※「割合 (%)」は複数回答であり、回答者数に占める各テーマの回答数の割合です。



### III 参考資料

#### 回答者属性一覧

区 分		抽出数		回答者数		回収率 (%)	(参考) 県人口構成 比(%)
		実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)		
県全体		4,000	100.0	2,001	100.0	50.0	100.0
性 別	男性	2,000	50.0	897	45.1	44.9	48.8
	女性	2,000	50.0	1,090	54.9	54.5	51.2
年 代	10歳代(18歳以上)	72	1.8	17	0.9	23.6	2.5
	20歳代	341	8.5	92	4.6	27.0	11.4
	30歳代	445	11.1	160	8.0	36.0	13.6
	40歳代	627	15.7	278	14.0	44.3	16.9
	50歳代	669	16.7	336	16.9	50.2	15.0
	60歳代	849	21.2	506	25.4	59.6	15.9
	70歳以上	997	24.9	603	30.3	60.5	24.8
居住地(圏域)	仙南圏域	571	14.3	279	14.1	48.9	7.4
	仙台圏域	572	14.3	274	13.9	47.9	66.1
	大崎圏域	572	14.3	273	13.8	47.7	8.6
	栗原圏域	571	14.3	310	15.7	54.3	2.9
	登米圏域	571	14.3	280	14.2	49.0	3.4
	石巻圏域	572	14.3	277	14.0	48.4	8.2
	気仙沼・本吉圏域	571	14.3	280	14.2	49.0	3.3
職 業	自営業主・家族従業者	—	—	278	14.0	—	—
	被用者	—	—	937	47.1	—	—
	企業役員・団体代表等	—	—	42	2.1	—	—
	専業主婦(主夫)	—	—	240	12.1	—	—
	学生	—	—	28	1.4	—	—
	無職	—	—	439	22.1	—	—
	その他	—	—	24	1.2	—	—
業種別	農業, 林業	—	—	133	11.1	—	—
	漁業	—	—	30	2.5	—	—
	鉱業, 採石業, 砂利採取業	—	—	2	0.2	—	—
	建設業	—	—	104	8.7	—	—
	製造業	—	—	176	14.7	—	—
	電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	18	1.5	—	—
	情報通信業	—	—	16	1.3	—	—
	運輸業, 郵便業	—	—	71	5.9	—	—
	卸売業, 小売業	—	—	121	10.1	—	—
	金融業, 保険業	—	—	19	1.6	—	—
	不動産業, 物品賃貸業	—	—	12	1.0	—	—
	学術研究, 専門・技術サービス業	—	—	26	2.2	—	—
	宿泊業, 飲食サービス業	—	—	41	3.4	—	—
	教育, 学習支援業	—	—	49	4.1	—	—
	医療・福祉	—	—	169	14.1	—	—
	その他のサービス業	—	—	130	10.9	—	—
	公務	—	—	66	5.5	—	—
	その他	—	—	15	1.3	—	—

※1 各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計は一致しません。

※2 年代別の県人口構成比については、総務省統計局「令和2年国勢調査結果」の18歳以上の男女における割合を基に算出しています。  
その他の属性別については、令和4年6月1日現在の選挙人名簿登録者数を基に算出しています。